

# a&s

The Professional Magazine Providing Total Security Solutions

# JAPAN

www.asj-corp.jp Nov/Dec. 2012 no.31

| 特集 MNS

| 製品特集 動体検知センサ

| 特別レポート GDSFJAPAN2012レポート

1.3/2/3メガピクセル  
IPドーム型/IP PTZカメラ



ラインナップ充実  
NevioHD シリーズ

 EverFocus®

# 赤外線サーマルカメラによる 暗闇の監視強化

一般的なCCDカメラ



赤外線サーマルカメライメージ



FLIR SRシリーズ



FLIR Fシリーズ



FLIR PTシリーズ



FLIR Dシリーズ

## 防犯・監視向 赤外線サーマルカメラ

光を一切必要としないフリースシステムズの赤外線サーマルカメラは、完全な暗闇、霧、煙の中でも鮮明な画像をとらえ、豊富なラインナップで幅広いニーズにお応えします。

- 固定タイプ、パンチルトタイプ、各種レンズをご用意
- アナログだけでなくTCP/IPネットワークにも対応(ONVIF準拠)

詳細は弊社ホームページで

[www.flir.com/cvs](http://www.flir.com/cvs)

製品に関するお問い合わせは  
お気軽に下記までどうぞ。

フリースシステムズジャパン株式会社  
〒141-0021  
東京都目黒区上大崎2-13-7  
目黒東急ビル5階  
電話・代表 : 03-6721-6648  
FAX : 03-6721-7946  
e-mail : info@flir.jp



表紙解説	
EVERFOCUS JAPAN、豊富なカメララインナップ	2

特集	
MNSの現状と将来	16
多層化による効果的なMNS	20

製品特集	
不安には盗難防止装置で対応	24
動体検知センサの先端技術	30

連載	
市場慧眼 よくわかるIPネットワーク	42
手書き署名認証	44

イベント・レポート	
GDSF JAPAN 2012レポート	35
アクセス ネットワークビデオ ソリューション ロードショー2012	47
IPCC2012in東京	47

イベント日程	
展示会、プライベートショー日程	48-49

導入事例	
フリーアシステムズジャパン	46

新製品情報	
ソニー、MOBOTIX JAPAN、オプテックス、 アクセスコミュニケーションズ、ヨネイ	

新製品欄	
CCTV、入退管理、その他	58

国内産業ニュース	4
海外産業ニュース	8
読者の声	63



## エヴァーフォーカスについて

エヴァーフォーカスはアナログカメラ・HDcctvカメラ・レコーダの製造・販売のほか、IP監視システムのソリューションプロバイダでもあります。メガピクセル対応IPカメラのほか、NVR、CMS、周辺機器まで総合的なIP監視システムをご案内できます。台湾に本社・工場を置き、米国、ドイツ、イギリス、インド、中国、日本をはじめとする世界各地に拠点を展開しております。

## 豊富なカメララインナップ

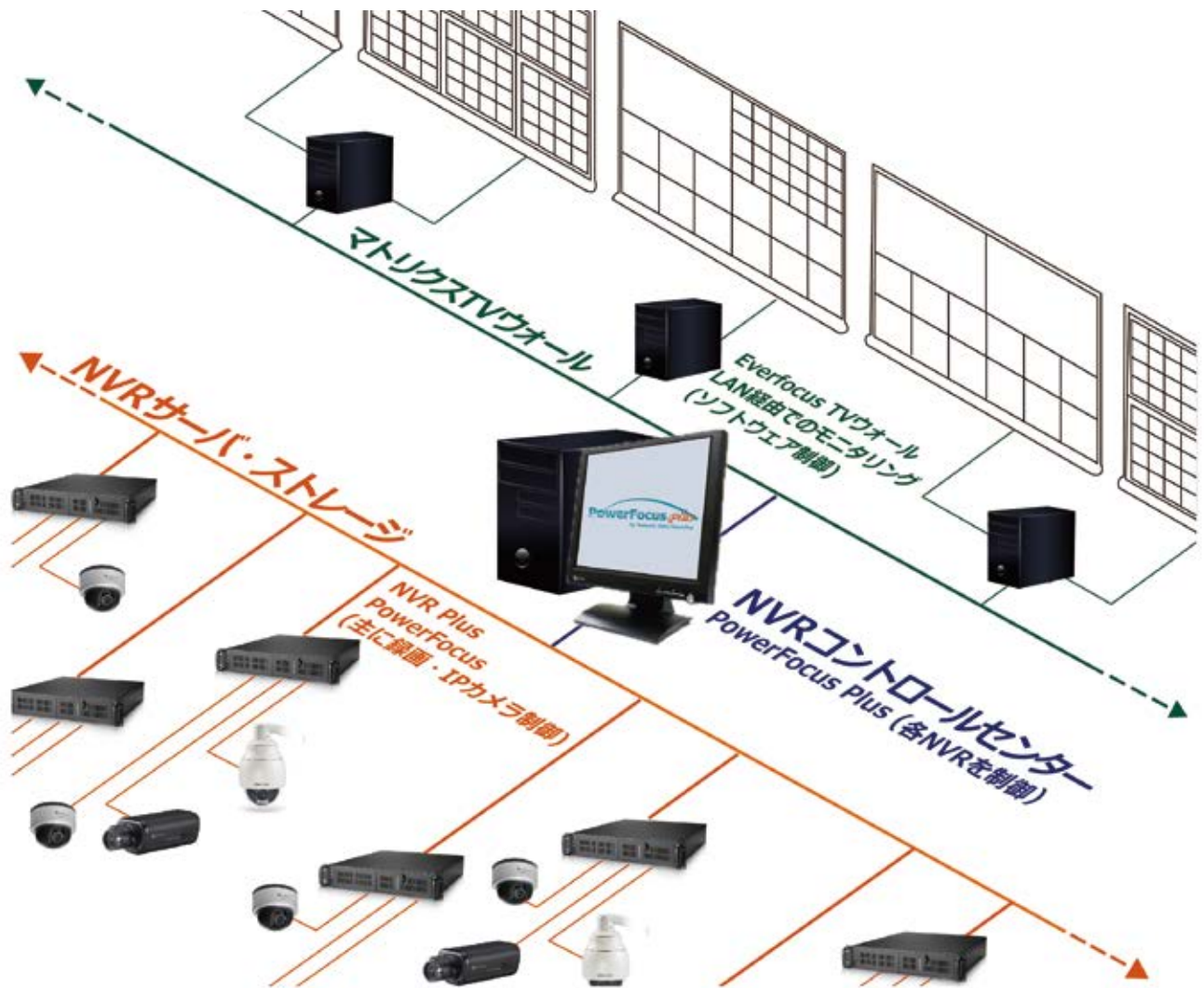
メガピクセルIPカメラに関しては、ボックス型のほか、ドーム型(屋内向け・屋外向け、赤外線LED搭載)・バレット型(屋外向け・赤外線LED搭載)・PTZの各カメラがあります。既存のアナログカメラを接続して映像をネットワーク経由で伝送するビデオサーバ(2chまたは4ch)、を含めた豊富なラインナップをご提供できます。各カメラともにNVR・CMSとの接続のほか、MicroSDカードスロット(録画・再生に対応)・スマートフォンでのモニタリング・DDNS対応(サーバは自社設置、任意の名称をカメラ管理画面から即時登録可能)・テストモニタ用端子等、カメラ単体での運用・設置時に役立つ機能を搭載しております。

これらのラインナップのうち、特に優れた機能を搭載するカメラをNevio(ネビオ)HDシリーズとしてご提供いたします。新製品のNevioHDシリーズでは1.3メガピクセル・2メガピクセル・3メガピクセルの各カメラをラインナップ(PTZカメラは1.3または2メガピクセル)。3メガピクセルモデルでは最大15fps、2メガピクセル・1.3メガピクセルモデルでは最大30fpsでのモニタリング・伝送・録画に対応します。ドーム型カメラはPアイリスに対応、各カメラともにPoE対応(PTZカメラを除く)、IPv6サポート、SSL対応等、より細かなニーズに応えるべく、ラインナップの充実をはかりました。

## PowerFocus Plus – 総合CMSソフトウェア

PowerFocus PlusはIPデバイスのモニタリング・マネジメント用途に設計された総合CMSソフトウェアです。

各サーバでの最大接続カメラ台数は64、画面レイアウトはサーバ1台あたり400chの表示が可能です(64chをこえる



分は他のサーバから映像伝送)。Emap機能、マウスドラッグによるデジタルズーム機能、テキスト情報・静止画情報をオーバーレイで挿入できるウォーターマーク機能。PowerFocus PlusではIPカメラシステム運用に役立つ様々な機能を導入しています。

マルチサーバ・クライアント制御により、システムの拡張にも柔軟性を持たせています。モニタリング専用サーバ・録画サーバ・コントロールセンターサーバを分離させ、各カメラの映像はLAN経由でグラフィックカードを搭載したサーバにモニタリング用途で伝送、録画サーバで各カメラ映像を記録、コントロールセンターサーバで各サーバを制御することもできます。

直感的に操作できるデザイン・GUIにより、導入時のトレーニングにかかるコストの低減、オペレーションの単純化を実施できます。PowerFocus Plus は簡単・柔軟そしてパワフルなIPデバイスシステムマネジメント総合CMSソフトウェアです。

## 連絡先

エヴァーフォーカスジャパン株式会社

電話：03-5625-8188 FAX：03-5625-8189

<http://www.everfocus.com.tw/jp/main.asp>

メール：info@everfocus.co.jp

## パナソニック、2013年に全方位360度カメラを発売

パナソニックは、監視カメラの新しいカテゴリとなった全方位360度カメラ市場に2013年から参入する。

全方位360度カメラは、MOBOTIX社が魚眼レンズと専用ソフトウェアを装備し、3メガピクセルの高解像度画像を実現する製品を世界に先駆けて発売後、様々な海外メーカーが追随している。特に台湾企業は10社以上が製品化し市場投入している。

パナソニックが内覧会で展示した製品は、屋内モデルと屋外モデルの2種類を用意している。主な仕様は下記の通り。

- 約310万画素、1/3CMOSセンサ
- 超広角魚眼レンズと歪補正機能

- H.264×2ストリームとJPEGの同時出力が可能
- 1モニタで最大30fps、2モニタで最大15fpsを配信
- 指定領域だけを高解像度で配信する2エリアVIQS
- 多彩な撮影モード

①パノラマ②ダブルパノラマ③4角PTZ④1角PTZ⑤4ストリーム(H.264/VGA)⑥魚眼(3M/JPEG,1.3M)

- SDXC/SDHC/SDメモ리카ード・スロット
- 保護等級IP66対応(屋外型)
- バンドルレジスタントの筐体

## クマヒラ、次世代コンセプトと情報発信拠点を発表

クマヒラは、次世代コンセプト「コーポレート・セキュリティ」を発表した。「コーポレート・セキュリティ」とは、企業に属する全社員の「行動の制限」と「行動の記録」を一元管理し、企業のコーポレート・ガバナンスに必要な内部管理態勢を、人的対応よりもコストを抑えて構築するシステムの手法を指している。

### 【システム要件】

同社では、コーポレート・セキュリティのシステム要件として、次の3点を挙げている。

- ①入室管理・鍵管理・監視録画・重要物保管の各システムを統合管理できること。
- ②セキュリティ・システムの管理ソフトウェアは10年以上定期バージョンアップが継続され、かつ多様な施設(ビル・工場等)に対応できる標準パッケージタイプであること。
- ③セキュリティ・システムの管理パソコンを操作するオペレータの正当な操作を検証できるシステムであること。

### 【システム構成】

コーポレート・セキュリティのシステムは、下記の製品およびシステムで構成している。

- ①セキュアモニタWeb サーバ：セキュリティ・システムをブラウザで管理するためのサーバ
- ②鍵管理システム(2機種)：鍵の保管と授受について、セキュリティ強化とコスト削減を同時に実現するシステム
- ③スターンゲート：堅牢でありながらデザイン性に優れたセキュリティゲート

### 【情報発信拠点】

また、同社は、上記の要件や構成内容を実感することができる場すなわち情報発信拠点として、「東京日本橋ショールーム」を全面リニューアルし、さらにコンセプトに準じた製品を展示して、次世代コンセプト「コーポレート・セキュリティ」の普及を促進する。

## 朋栄、映像専門企業2社を買収

朋栄は、ビジュアル・プロセッシング・ジャパンおよびシリコンスタジオの子会社であるビジュアル・グラフィックスの全株式を譲受し、2012年11月30日より、朋栄グループの子会社として新たに業務を開始する。

ビジュアル・グラフィックスは、映像システム・インテグレーション業務で、海外製品・システムにお取引先のニーズに合わせた独自のシステム統合を行い、普及ソリューションからハイエ

ンドソリューションまで幅広い分野のシステムを提供している。

同社の全株式を譲受した朋栄は、下記の内容で従来通り事業展開する。

1. ビジュアル・グラフィックスの全従業員を引き継ぐ。
2. 同社の輸入販売業務を全て引き継ぐ。
3. 同社が販売した機器とシステムの保守点検を引き継ぐ。
4. 社名変更ならびに所在地変更はない。



# BOSCH

Invented for life

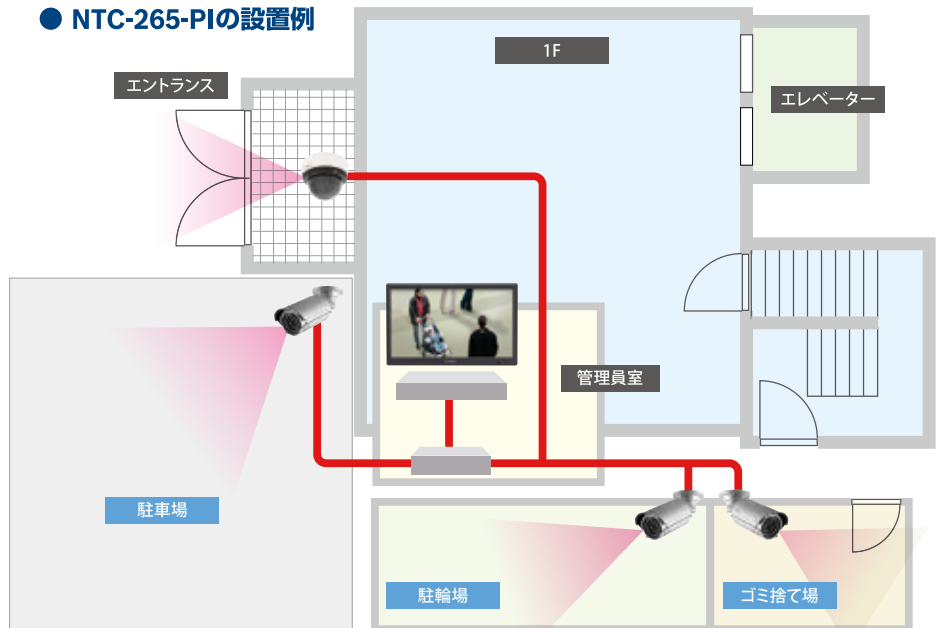


## 照射距離25mの赤外線照明を内蔵 HD 720p、屋外対応デイトナイトネットワークカメラ、NTC-265-PI

### ● IP 200シリーズ 型番：NTC-265-PI

- ・ 1/4" プログレッシブスキャンCMOS
- ・ バリフォーカル
- ・ 30フレーム/秒：(HD 720p)
- ・ 最低照度：カラー1.0 lux (赤外線照明オフ)、白黒0 lux (赤外線照明オン)
- ・ 屋外対応：IP66、動作温度範囲：-20～50°C
- ・ 用途：小売店舗、駐車場、駐輪場、ゴミ置き場、エントランス付近、交通機関など
- ・ 標準価格：NTC-265-PI (IVA機能なし)  
¥140,000 (税別)

### ● NTC-265-PIの設置例



● Boschセキュリティ製品に関するお問い合わせ先

**Bosch Security Systems日本総代理店** ホーチキ株式会社 インテリジェント・ビデオ・システム部

TEL. 03-5759-4164 [www.hochiki.co.jp/business/cctv/](http://www.hochiki.co.jp/business/cctv/)

## 図研エルミック、ONVIFのProfile S実現用プロトコル・ミドルウェアを発表

図研エルミックは、IPネットワーク上で運用するセキュリティ機器間のインタフェースを標準化するために設立された業界団体ONVIFが2011年12月に発表したProfile Sを実現するためのミドルウェアライブラリ、「Ze-PRO IPcam-PS」、「Ze-PRO IPmon-PS」を12月1日より販売する。

2008年のONVIF発足以来、ONVIFが定めた技術仕様はバージョンアップが繰り返されている。そのため、システム内で異なるメーカーのONVIF対応機器を接続する場合、相手側の準拠しているバージョン仕様が問題になっていた。

そこでONVIFは、ONVIF準拠製品の相互接続性の管理を簡素化するために、技術仕様のバージョンに左右されずに相互接続性を実現する共通部分を特定の機能ごとに「Profile」として再構成すると発表した。

Profileに対応した機器同士であれば、より高い相互接続が実現できる。

昨年、最初のProfileとして誕生したProfile Sは、カメラやビデオ・エンコーダなどと、クライアントとの間のストリーミングの相互接続のためのProfileである。今後、他の機能のProfileが標準化される予定。

バージョンの上位/下位互換のみならず、Profileにより、開発者は、それぞれ異なった機能レベルを定義するProfileの中から、自社の必要性に合わせて所望のProfileを選んで使えるというメリットもある。それにより、使いやすさとコスト面での利点も期待できる。Profile Sがカバーする機能に絞って実装することで、技術仕様全体(例：ONVIF Core Specification, version2.2)に比べ、ファイルサイズを押さえることができるため、ONVIF準拠のカメラ、クライアントを簡単に、安価に開発することも可能になる。

## サーコム・ジャパン、無線LANエクステンダOEM製品を発表

サーコム・ジャパンは、PC周辺機器市場向けOEM製品の無線LANエクステンダ「RP101」を発表した。RP101を使用することで、既存のイーサネット環境の無線化、無線LANがつながりにくい場所での接続性の向上を実現できる。

今後拡大が想定される無線LANを使用したサービスおよびデバイスでは、無線LANの接続環境が安定していることが強く求めら

れており、RP101を使用することでその要求に応えることができる。また、無線LANが搭載されていないルータやセットトップボックスをユーザに提供しているケーブル事業者にも最適です。

RP101は、主にサービス・プロバイダ、ケーブル事業者、電機メーカーを対象に、サービス事業者によるカスタマイズ提供が可能なOEM製品として提供する。

## 三菱電機インフォメーションテクノロジーと日本ストラタステクノロジー、協業を強化

三菱電機インフォメーションテクノロジー(MDIT)と日本ストラタステクノロジー(ストラタス)は、あらゆるITシステムに高い可用性技術を備え、企業がビジネス継続性の確保を確実にするための強力な支援策として、MDITが厳選した製品のラインアップであるDistributed by Mitsubishi Electricに、処理能力をさらに向上させたストラタスの高信頼性無停止型サーバftServerを新たに加え、提供を開始する。

MDITとストラタスは、長期にわたり高信頼性システムの販売や保守において強力な協業体制を築き上げてきた。今回ftServerをDistributed by Mitsubishi Electricに加え、ミッション・クリティカルなシステムにおけるクラウド化やネットワークの仮想化を躊躇せず導入できるよう、さらに両社の協業体制を強化し、基幹系システムなど幅広い業種・市場のニーズに対応していく考え。

## 店舗プランニング、広島営業所を開設

店舗プランニングは、IPネットワークカメラをはじめHD-CCTV製品そしてアナログCCTVまでと、映像監視システム・ソリューションを幅広く市場に提供している。今後の需要の高まりとサービス強化のため、2012年9月10日に広島営業所を開設した。

同社は東京本社その他、関西支店、仙台営業所、名古屋営業所、

福岡営業所と全国各地に営業拠点を構えているが、広島営業所を開設したことで、東京から福岡までの大都市をカバーする体制が整った。広島営業所の情報は下記の通り。

広島市東区若草町10-12 日宝若草町ビル4階  
電話 082-569-6720



# 証明の信頼性を驚異的に向上



Secure Identity Object™  
(SIO)データ・モデル  
のiCLASS SE®

## HIDならではの安全の証明

- あらゆるw/NFC装置を安全な保証に切り替えます。
- ほとんどの主要スマートカードに対応します。
- アップグレードが簡単にでき、システムが長く使用できます。



SIOに関する情報は  
[hidglobal.com/sio](http://hidglobal.com/sio)、  
またはQRリーダーの  
スキャンでどうぞ。



**セキュリティと独自の技術を搭載しました。**  
新しいiCLASS SEは、携帯電話や高性能な装置をIDカードとして変化させます



iCLASS SEは、セキュリティ・キー・マネジメントシステムを含む違反耐性テクノロジーの複数の層で、あなたのアイデンティティを保護します。それは驚くほど柔軟に—MiFARE/DesFIRE, EV1とIndala技術ならびにiCLASSをサポートして、どの装置でもアクセス・コントロール・ソリューションになる我々のSIOデータモデルでアクセス・コントロール・ソリューションに変える事が出来ます。さらに、将来的にあなたのニーズに併せてカードリーダーの再設定可能です。強力で順応性がありエネルギー効率の良い設計のiCLASS SEは真の次世代アクセスコントロールです。

詳細情報は下記までどうぞ [hidglobal.com/unleash-ASJapan](http://hidglobal.com/unleash-ASJapan)

日本オフィス  
東京都港区六本木5-16-23 グローブプレイス六本木永坂307  
電話・03-6435-5900  
平野 友計 [thirano@hidglobal.com](mailto:thirano@hidglobal.com)

## IMSリサーチ社、2012年末の(ALPR)世界市場を3億5千万ドルと予測

不況期の中でALPRは投資対効果優先に大きな重点を置き切り替え始めている。

IMSリサーチ社は、ALPR(自動車ナンバープレート認識)世界市場が2012年末には3億5千万ドルの規模、前年比6.9%成長と予測している。

強い投資対効果により、駐車時間管理が他のALPR導入事例より進んでいる。HIS社の報告書作成者でアナリストのマイケル・アルラク氏は、「駐車時間管理は、車両を識別し請求することで、駐車場所有者の収益成長率を助長している。同時に、小売業者およびショッピング・モール経営者は、買物客用駐車場の有効活用のために、駐車時間管理システムの設置とALPRを評価し、今後も導入し続けるだろう」と評している。

英国では、過去2~3年での予算削減により、以前は駐車違反取り締まりに対抗してこなかったALPR供給企業が、駐車場市場に参入してきた。

これまで拒絶していたEMEA市場でさえ、2011年には駐車場部門が4.1%増となった。

アルラク氏は「欧州の駐車場部門は、エンドユーザへの設備販売とは異なるビジネスモデルに発展した」と分析し、「典型的な例を挙げると、投資会社は大規模小売企業に接近し、駐車料金の一定率をALPRシステムによる駐車場管理に供与することで合意している。この委託手数料方式が、それまで懐疑的で投資金額も限られていた小売企業から評価された」と語っている。

## ABIリサーチ社、非接触型ICカード市場規模を2017年に760億ドルと予測

セキュリティと多重活用さらに移動状況の把握改善の目的で、各国政府は先端の国家IDカードを発給している。しかも、統括処理が可能なカードで、オンラインとオフライン双方の環境でのサービスを統合している。高信頼性の製品の採用で、IDスマート・カードの売上は、2012年の35億USドルが2017年には760億ドルまで拡大すると見ている。

フランスやロシア、ブラジルやマレーシア、インドネシアやポーランドでは、2012年は次世代認証方式への移行が、高額なスマート・カードの採用で進展する年となりそうだ。年間成長率が2014年まで2桁を維持すると予想している。その中核を占めているのが、非接触型IDカードである。

非接触型IDカードとインタフェイス機能を2つ備えたデュアル・インタフェイスIDカードの合計出荷が、2012年には全出荷量の19%を占有する勢いである。そのシェアは2017年に37%にまで増加すると予測している。同時期に65%のCAGR(年平均成長率)で最も急速に成長を遂げるのは、デュアル・インタフェイスICとしている。

ABIリサーチ・アナリストのフィル・ルーシー氏は、国家ID事業の成功は、デュアル・インタフェイスICを採用したことにあると指摘している。デュアル・インタフェイスICはいくつもの利点を有している。非接触で使い勝手が良く、ユーザ・フレンドリで読み取りが容易などだ。価値の高い一括決済能力や他のサービスを提示している間に、接続機器経由でノートPCやデスクトップPC、キオスクおよびターミナルでのカード決済を済ませることができる。このように、決済環境がEMV標準で定められた接続方式をサポートすることから、政府は決済と福祉への適用を確立することを可能にした完成したプラットフォームを提供している。

また同社取締役ジョン・デブリン氏は、「政府は自国の標準や適用基準を定めるが、共通要素はコスト減少という一連のサービスへの要望だ」とし、「多重活用ソリューションは実証済みで、導入実績も明らかだ。そのため、より高額技術の採用や以降は景気不安に直面していても成長し続ける」と付け加えている。

## BSIA、小売業でのセキュリティ需要が2013年に増大すると予測

英国セキュリティ産業協会(BSIA)が実施した調査によると、窃盗や万引および従業員による内引の増加により、直近12か月で小売部門での防御策需要が増加している。回答者の85%以上が、セキュリティ対策を検討している。

具体的には、イベント発生時の映像転送や警報発令などのインテリジェント機能を有する全方位カメラシステムを積極的に

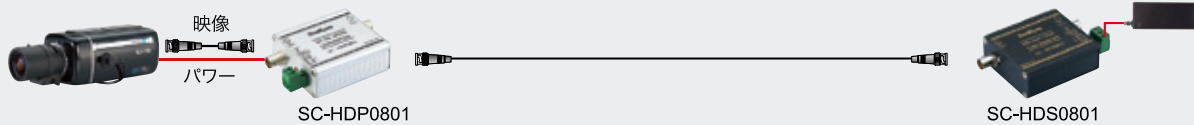
導入している。映像転送先としては、経営者や店舗責任者が時間や場所に拘束されずに随時モニタリングができるスマートフォンやPDAなどに注目が集まっている。

さらに、初期費用と運営費用を圧縮することができるクラウドシステムによるソリューションにも関心が高いとしている。

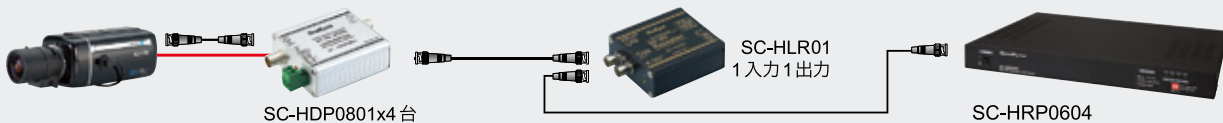
# HD-SDI ワンケーブルユニット

- ★ カメラとリピーターの電源が不要であるため、電源工事費用の節減が可能です。
- ★ 既設アナログVPカメラを HD-SDIカメラに変更する時にお勧めです。
- ★ 最大リピーターを5個使えば1 Kmまで延長伝送可能!

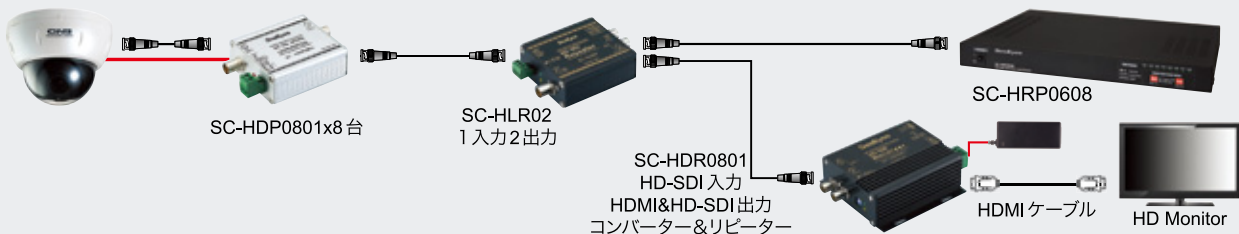
1チャンネル 150m(5C-FB基準) Full HD(1.5G) 映像+パワー



4チャンネル 150m(5C-FB基準) Full HD(1.5G) 映像+パワー  
SC-HLR01(リピーター)を追加した場合 +200m延長可能 TOTAL:350m



8チャンネル 150m(5C-FB基準) Full HD(1.5G) 映像+パワー



## HD-SDI映像を4分配する場合(SC-HD1VDA)



- ★ リピーター機能付きで分配した4チャンネルの映像を最大200mまで延長伝送可能
- ★ 低い損失、出力信号の歪曲がないきれいな信号

## アナログ映像をHD-SDI変換する場合(SC-SDHD01 または SC-SDHD04Q)



- ★ アナログ映像信号をHD-SDI信号に変換
- ★ 多様な出力対応: 1080p/1080i(SC-SDHD01、SC-SDHD04Q) 720p/720i(SC-SDHD01)
- ★ 画面比率 16:9、4:3 選択出力可能
- ★ SC-SDHD01: 1入力1出力 超小型
- ★ SC-SDHD04Q: 1入力4出力(分割画面または単画面)

## M&M社、侵入検知/予防システムの世界市場規模を2017年に160億超ドルと予測

マーケット&マーケット(M&M)社の新市場研究報告書によると、侵入検知と防止システム(PID&PS)市場規模が、2012年から2017年までの5年間の年平均成長率が7%で、2017年までに163億USドルに達すると予測している。

PID&PS市場は、北中南米が牽引し、アジア太平洋と欧州がそれに続いている。その他の地域では、中東とアフリカが最大の成長牽引者である。PID&PS市場は、侵入防止警報、国境保障および入退管理などに大きく分類されている。それぞれの分

類は、技術方式や適用および地理的な浸透でさらに分類されている。

侵入検知と防止システムの必要性は、複雑化する脅威により多岐にわたる。

中東やアフリカでの突発的な市民暴動により、各国政府はセキュリティ対策を再考することを強いられている。アジア太平洋地域では、頓挫した建設計画や社会基盤整備ブームの回復により、PID&PSソリューション事業が新たに展開している。

## M&M社、IPカメラと映像解析世界市場規模を2017年に580億ドルと予測

M&M社の報告書「ネットワークカメラおよび映像解析世界市場の予測と分析2012 -2017年」によると、2012年から2017年までの5年間の年平均成長率は22.4%で、2017年までにネットワークカメラと映像解析市場が57億6027万ドルに達すると予想している。

映像監視の世界市場は、この数年で劇的に変化した。情報化したセキュリティ・システムや反テロリスト活動、住居基盤整備や効率的な投資の必要性から、信頼性の高い情報化したセキュリティ・システムの需要を喚起した。映像監視は、アナログからデジタルに、スタンドアロンからネットワークに急速に移行しているソリューションと、複雑な映像解析の成長路線により変化している。遠隔監視を可能にするセキュリティに関する映像システムの利点は、世界中で広く設置されることになった。

映像監視のわずか2つの要素でしかないネットワークカメラと映像解析は、映像監視市場全体よりも成長している。人間の介在度合いを削減するという映像監視の効率性を押し上げ、かつ総費用削減を達成できる可能性により、これらの製品採用を促進している。

ネットワークカメラ市場を牽引する主要因は、より高い解像度の必要性、具体的には政府投資に支持されているTCO削減とセキュリティ以外での用途で増加する需要である。

他方、ネットワークカメラ市場成長は、高帯域が必要な条件と

データ機密性不足が阻害要件である。ネットワークカメラへの映像解析内蔵は、ネットワークカメラ・メーカーに競争上の優位性を与えることができた。ネットワークカメラ世界市場は2012年に18億5000万ドルと推測され、2012年から2017年までは年平均19.5%の成長率で、2017年に45億ドルに達すると予想している。

ネットワークカメラ世界市場は、地球規模で横断的に平等に分布している。2011年時点では、北米地域が30%のシェアを占めていた。しかし、今後はアジア太平洋地域APACがより高い年平均成長率で伸長すると予想されている。

映像解析市場を牽引する主な要因は、アナログからデジタル、オープンスタンダードなネットワークの出現といった映像監視市場の変化がシステム構成機器内で増加し、阻害要因としては、システム複雑さによる誤報や初期費用や高い維持費の発生があるものの、娯楽と視覚通信のような非セキュリティ用途の機会が有利に働くと考えられている。

映像解析世界市場は、2012年に2億5千万ドルと推測され、2012年から2017年までは年平均38.6%の成長率で、2017年に12億6千万ドルに達することと予測している。その期間の映像解析市場は北米が牽引すると予想している。しかし、APACは、最大成長を遂げることになりそうである。これは、主としてネットワーク映像監視に関する意識を高める技術向上と市場成熟による。

## フロスト&サリバン社、2016年東南アジアのEAS市場を791億ドルと予測

2011年東南アジアのEAS市場は前年比18.8%増の367億ドルで、成長は2016年まで続き、791億ドルに達すると予測し

ている。これは、東南アジア地域での小売業が飛躍的に発展していることが背景にある。

- アクセスコントロール
- LPR (自動車ナンバー読取)
- IP-PBX (SIP) インターフォン
- 画像解析
- 侵入監視
- 資産管理
- 高度なSDK (ネイティブ.net から .net マクロまで) による各種システムとの統合をサポート。

それがGenetec社 Security Centerです。

次世代VMS必須の要件とはなんでしよう。  
それは一人一人、一社一社とニーズは違っても、  
最終的には経営の根幹的プラットフォームの一つになり得る事です。  
そして極小規模から巨大なシステムまでシームレスに。

あなたの欲しいがある。 [www.javatel.co.jp](http://www.javatel.co.jp) ◆お問い合わせメール [info@javatel.co.jp](mailto:info@javatel.co.jp)

**Javatel**  
Video Intelligence

株式会社ジャバテル

本社 〒530-0041 大阪市北区天神橋2-北1-21 八千代ビル東館3F  
TEL 06-6354-0100 FAX 06-6136-1155  
支店 〒107-0052 東京都港区赤坂1-6-6 第二井上ビル2F  
TEL 03-3583-3660 FAX 03-3583-3662  
姫路支所 沖縄営業所

### 会社案内とご挨拶

ジャバテルは個人、企業、国家機関などの生命と財産を守る為の高度なセキュリティシステム、企業の品質、生産性の向上、利益を最大限、損失を最小限にする為のソリューションを提供しています。

世界No.1 東京スカイツリーの監視セキュリティに**GENETEC社のOMNICAST**が採用されました。700台弱のメガピクセル・カメラをシームレス統合した世界クラスのセキュリティを実現しています。

## フロスト&サリバン社、APACの生体認証市場が2016年に9億ドルに到達と予想

世界中で増加している犯罪発生率およびテロリズムにより、各国政府は監視体制を増強し、高信頼性の国境検査システムを導入している。APAC(アジア太平洋)各国間の陸海空のいずれにおいても、あらゆる検査地点で鑑識と移動を対象としたセキュリティ上の問題と政府規制を検討している。

フロスト・アンド・サリバン社の新しい分析では、市場実現収益が2011年に5億ドルもあり、2016年まで年平均12.6%成長して9億500万ドルに達すると予想している。地域内の多くの新興市場国で、国家識別と国境警備の点から社会基盤整備の必要性がある。そのため、APACの生体認証市場は北米、中東および欧州よりも成長するだろう。

「国家ID事業は、地域内の多くの国々で居住者と反政府運動家を識別するために導入された」とフロスト&サリバン社リサーチ・アナリストのスーザン・サハヤン氏が話し、続けて「しかし、世界的な金融危機、緊

縮した政府予算、完全な生体認証システム導入に必要な初期投資額が高額なため、多くの事業が遅延ないし延期されていた」と言う。

これらの障壁を克服するために、個人を識別する多数の認証方法がより高い精度と大規模なセキュリティを可能にすることから、企業は様々な生体認証方式の単一システムへの収束を促進しなければならない。そして、情報化した強健なセキュリティ・システムの要件を満たすために、映像監視のような他の技術と生体認証を統合しなければならない。

「先進技術および安全で大規模な政府事業を提供することを期待する企業にとって、優れた承認には批判的だ」とサハヤン氏は言う。「潜在市場参加者のための参入障害を上げるからだ」。この機運で障壁が高まり、参入企業は統合に頼るようになる。しかし、この動きはさらにカギを握る企業間の競争を強め、さらに革新的で適切な製品の開発を誘発する。

## 国家安全保障研究所、中国が米国に代わり最大市場に躍進と予測

世界の安全保障技術および市場調査機関である国土安全保障研究所の2つの調査、「2012年-2020年中国国家安全保障&公安市場」と「2013年-2020年米国国家安全保障と公安市場」は、安全保障と社会安全市場で中国が最大市場となると予測している。

30年間の劇的な経済成長により、社会的緊張や民族間の摩擦そして国内の不安が生まれ、中国中央政府をして「それがとるものすべて」に投資させた。中国報告書ではそれらを明らかにしている。

- 世界で建設された3つの新空港のうち2つが中国にある。
- 中国の「12番目の5年計画である2011-2015」では、防衛よりも国家安全保障と公安により多く投資する。
- 中国政府650事業「平安都市」による2013-2020年の市場が1800億ドルを越える。
- 世界最大の国家公共交通機関は200億ドルのセキュリティ改修を用意している。
- 米国商務省は米国製国土安全保障と公安製品の中国への輸出を支援促進している。

●FLIR SYSTEMS社やGE社、ハネウェル社やパナソニック、サムソン社やシーメンス社、ボッシュ社やEADS社といった企業が、中国市場で既に活動している。

中国メーカーは普及品や中級製品を供給しているが、外資系製造業は高額のセキュリティ関連技術の販売で2011年に243億ドルを販売している。

例えば、中国のスマートな映像監視市場、世界最大の「平安都市」計画および国境保障市場の基礎は、外国企業が独占している。人工知能ベースの映像解析システムまで供給している。責任アナリストのダン・インバア氏によると、

「30年間の劇的な経済成長により、社会的緊張や民族間の摩擦そして国内の不安が生まれ、中国中央政府をして『それが取るもの全て』に投資させた」。

「これは、2011年に400億ドルと2012年450億ドルを投資し、2015年までに毎年580億ドル、2020年までに毎年1050億ドルを投資するだろう」。

私が話す通り、中国は、国土安全保障と公安製品のビジネス機会を世界的な主要企業に供給している。

## インターシル社、ビデオ監視分野の先導企業との連携を強化

高性能アナログ/混成IC開発製造のインターシルは、SLOC(Security Link over Coax)技術の普及を加速する企業との連携を強化する。SLOC技術は、新たなケーブル配線を必要とせ

ずに、既存のアナログCCTV同軸ケーブル・インフラでの高解像度メガピクセル/HD IPベース・カメラの動作を可能にする。既に同社は、ソニーをはじめ100社近い国際企業と協力している。

高品質・低価格のセキュリティシステムを提供する  
店舗プランニングの豊富なラインナップ！



- ▶ 豊富なラインナップを持つ  
**アナログカメラシリーズ**
- ▶ 高解像度の  
**プログレッシブ・ネットワークカメラシリーズ**
- ▶ 進化したセキュリティカメラ  
**HD-CCTVシリーズ** **NEW!**  
高機能・高画質カメラ & 最新HD-SDI録画装置



## 最新のネットワークカメラによる ビジネス価値の向上



**1** IG2050F [HD IP固定カメラ]  
デイ/ナイト(TDN)機能付き  
フルHDネットワークカメラ



- 1/3インチ・プログレッシブCMOSセンサ搭載、TDN(ICR)
- 最大フルHD(1920×1080)、30fps
- H.264/MJPEGのデュアル・コーデック・ストリーミング PoE対応
- デュアル・オーディオ(ADPCM)、SDメモリーカード

**2** IDC4050VR [HD IPドームカメラ]  
高解像度プログレッシブ・  
フルHDネットワークカメラ



- 1/3インチ・プログレッシブCMOSセンサ搭載、TDN(ICR)
- DCアイリス・パリアフォーカル・レンズ(3~10mm)、赤外線LED 18個
- 最大フルHD(1920×1080)、30fps
- H.264/MJPEGのデュアル・コーデック・ストリーミング PoE対応

**3** IBP5030CR [メガピクセル耐候カメラ]  
高解像度プログレッシブ・全天候型  
ネットワークカメラ



- 1/2インチ・プログレッシブCMOSセンサ搭載、800TV本
- DCアイリス・パリアフォーカル・レンズ(7.5~50mm、F=1.3)
- 最大1.3メガピクセル(1280×960)、24fps
- 赤外線LED 206個、センサ 1個

**2012年、関西支店・福岡営業所が移転。広島営業所が新規開所。**

今年、新たに広島営業所(広島県広島市)が開所いたしました。

今年、福岡営業所・関西支店(旧大阪営業所)が移転し、9月には、新たに広島営業所が開所いたしました。これを機に、社員一同社業に励み、皆様のお役に立てるよう努力いたします所存です。今後とも一層のご支援ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

<p><b>【福岡営業所】</b> 福岡県福岡市博多区榎田 2-4-59 Eco R 1号室 TEL:092-433-5777 FAX:092-433-5778 高速2号線榎田出口すぐ</p>	<p><b>【関西支店】 ショールーム併設</b> 大阪府大阪市淀川区宮原 1-2-33 新大阪 MSEビル 2F TEL:06-6394-5881 FAX:06-6394-5886 JR・地下鉄新大阪駅前</p>	<p><b>【広島営業所】</b> 広島県広島市東区若草町 10-12 日宝若草町ビル 401 TEL:082-569-6720 FAX:082-569-6721 JR 広島駅新幹線口前</p>
--	---	---

関西支店 新ショールーム

広島営業所外観

**CNB** CNB Technology Inc.日本総販売代理店

**TENPO PLANNING** 株式会社 店舗プランニング セキュリティ事業部  
関西支店 仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 福岡営業所 技術センター

東京本社  
〒151-0061 東京都渋谷区初台1-46-3 シモトビル2階  
TEL:03-3378-4901 FAX:03-3378-4906 www.tenpo.co.jp  
販売代理店募集中 製造元 CNB Technology Inc.

# WEBGATE社によるHD-CCTVシステム導入事例の紹介

## リゾート地での導入事例

### 設置場所

タエミュン・リゾート社は、ソネフェリスやピバルド・パークを含む最高級リゾート地を韓国各地で開発運営している。同社は、ゲスト棟を拡大しゴルフ場を造成して、セオラク・デル・ピノを開業した。



### 要望内容

リゾート社は、韓国で最高水準のリゾートにふさわしい監視システムによる最良ソリューションを求めていた。従来の標準解像度アナログカメラでは、ゲストの顔を特定できないため、さらに高解像度でワイド型の鮮明な映像を、スタンドアロンのカメラにも求めていた。それは、HDの高解像度カメラとDVRによる統合監視システム、HDTV水準のワイド型モニタ経由の高解像度映像による映像監視ソリューションで、途切れない映像表示およびフルHD録画ソリューションが欠かせないという条件だった。

さらに、ソリューションはリゾート地内の全カメラを中央管制室で統合し、ネットワーク経由で監視者用の遠隔監視機能も求めていた。

### 導入システム

WEBGATE社はボックス型とドーム型そしてPTZ型のHD-SDIカメラ163台と8チャンネルHD-DVRとHD800Hを24台納入した。これまで、設置のしやすさとデータ伝送の信頼性から、光ファイバ・ケーブルを使用してカメラとDVRを接続していた。さらに、各警備担当者が求めるカメラ映像を視認するために、各DVRをネットワークで統合した。その結果、HD-SDIシステムのシームレスな画面表示とロスのないデータ記録は、警備担当者から高い評価を得た。

## 競馬場の映像再生システム

### 設置場所

KRA(韓国競馬協会)はソウルとプサンそしてジェジュで競馬を開催している運営会社である。約980頭の競走馬による782の競馬レースが毎年年間94日以上開催されている。



### 要望内容

多額の賞金がかかっている競馬レースでは正確な着順が不可欠で、フルHDによる鮮明な映像データを確保することが絶対条件となる。競馬場では各レースの映像再生システムを用意する必要があることから、映像データ管理用としてHDTVカメラと録画機器を使用することを決定した。その際映像ボケを解消するために、30fpsの映像と高解像度録画と再生可能なDVRが必要である。特に、どの競争馬が最初にゴールしたかを識別するために、正逆双方の小間送り機能は欠かせない。

### 導入システム

WEBGATE社は、競馬運営会社にHD映像画質とアンチ・モーション・ブラー機能があるHD-SDIカメラC1080Mを提案した。WEBGATE社が提案したアンチ・モーション・ブラー機能とは、実際の記録映像データからキャプチャした高速移動体の映像ブレを最小化して、円滑な映像を提供する機能である。さらに、メガピクセル・レンズと映像送信用光ファイバ設備そして8チャンネルHD-SDI DVRのHD800Hを加えた。

競走場は、既存の映像再生装置に替えて、ウェブ・ゲート社のソリューションを導入し、システムを拡張した。

1着馬を識別するために、DVRの正逆小間送り機能を使用した。また、ユーザが簡単に操作できるようにするために、ウェブ・ゲートは、USBジョグシャトルと接続するCMSを特製した。

## 高速道路の管制システム

### 要望内容

韓国道路公社は、道路交通の円滑に運用するため、全国の21本の高速道路2040kmを管制している。同社は、インテリジェント交通システム(ITS)をアップグレードするために、鮮明な画像による交通情報を求めていた。そこで、WEBGATE社は、既存の同軸ケーブルを使用するHD-CCTV統合ソリューションを提案した。その内容は、低コストと既存の交通システムと融合する情報技術そして自動車技術により、リアルタイムで交通情報を提供できるシステムを開発し、使用する高効率交通システムだった。



### 導入システム

入札で落札したWEBGATE社は、低コストと高効率化に成功し、既存システムを活用したアップグレード化を実現できる、HD-CCTV対応カメラC1080B62台を導入した。また、ほぼ全車のナンバープレート認識を可能にした。しかも、これまでは困難だった夜間照明下で対象物を識別することができ、犯罪車の追跡に効果をもたらした。

### 導入効果

韓国道路公社は、WEBGATE社製HD-CCTVがコスト面で優れていることが判明したことで、2011年にHD-CCTVカメラを追加導入した。当初の計画日程と指定予算範囲内で、既存の同軸ケーブルやCCTVネットワークを活用しながら導入したWebGate社のシステムは、導入後約2年が経過したが、インテリジェント交通情報システムは、現在も正常に機能しており、問題点は発生していない。その背景には、WEBGATE社が継続的にソフトウェアをアップグレードして、最高水準の性能を維持しているサポート体制がある。





さらに高度で、上質なセキュリティへ。  
**HD-SDIシリーズ フルラインナップ**

**WEBGATE** HD-cctv member  
 HD-CCTV solution provider

**HD-SDIボックスカメラシリーズ**



**C1080B**  
 HD-SDIボックスカメラ  
 2.1メガピクセル高画質・テイナイト&高機能タイプ



**C1080BM**  
 HD-SDIボックスカメラ(ショートボディアップ)  
 2.1メガピクセル高画質・テイナイト&高性能コンパクトタイプ



**C1080D**  
 2.1メガピクセル高画質・テイナイト機能&  
 3軸調整可能



**C1080VDIR**  
 2.1メガピクセル高画質・IR内蔵  
 テイナイト機能搭載

**HD-SDIドームカメラシリーズ**

**HD-SDI全天候型赤外線LEDカメラシリーズ**



**C1080BL-IR18-AF** **NEW!**  
 2.1メガピクセル高画質・全天候型小型テイナイトカメラ



**C1080BL-IR48-AF** **NEW!**  
 2.1メガピクセル高画質・全天候型高機能テイナイトカメラ



**C1080PT-Z20** **NEW!**  
 2.1メガピクセル高画質・光学20倍スピードドームカメラ

**HD-SDIスピードカメラ(光学20倍ズーム)**

**HD-SDI DVRシリーズ**

**4ch**



**HD400H**  
 HD-SDIフルHDスタンドアロンDVR

**8ch**



**HD800H**  
 HD-SDIフルHDスタンドアロンDVR

**16ch**



**HD1600M** **NEW!**  
 HD-SDIフルHDスタンドアロンDVR

解像度1080P/720P入力/4ch:録画フレーム(最大60fps@1080p/最大120fps@720p)/8ch/16ch:録画フレーム(最大120fps@1080p/最大240fps@720p)/遅延なく高画質録画&再生/HDMIとVGA映像出力各1ch装備/ウェブブラウザーによるモニタリング及び再生・バックアップ/バックアップ用にDVDドライブ&USB及びeSATAポート装備

**HD-SDI アクセサリーシリーズ**

**HD-SDI▶HDMI**



**RP102**  
 HD-SDIリピーター(1入力/2出力)  
 配線距離を延長する場合に使用する便利なりピーター

**SDI2HDMI**  
 HD-SDI→HDMIコンバーター  
 HDMI入力のあるモニターやテレビで表示が可能

**HDMI▶HD-SDI**



**HDMI2SDI**  
 HDMI→HD-SDIコンバーター(2入力/2出力)  
 SDI2HDMIとセットで使用してHDMI信号の変調可能

**SD▶HD-SDI**



**SD2HD** **NEW!**  
 SD(アナログ)→HD-SDIコンバーター  
 アナログ映像信号6chをHD-SDI信号出力・分割表示可能

**HD-SDI▶SD**



**HD2SD-L** **NEW!**  
 HD-SDI→SD(アナログ)コンバーター  
 SD(アナログ)1出力+HD-SDIスルーアウト1出力

**HD-SDI▶SD**



**HD2SD** **NEW!**  
 HD-SDI→SD(アナログ)コンバーター  
 SD(アナログ)1出力・既存のDVRやモニター接続が可能

**WEBGATE** WEBGATE 日本総販売代理店

**TENPO PLANNING** 株式会社 店舗プランニング セキュリティ事業部  
 関西支店 仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 福岡営業所 技術センター

東京本社  
 〒151-0061 東京都渋谷区初台1-46-3 シモトビル2階  
 TEL:03-3378-4901 FAX:03-3378-4906 www.tenpo.co.jp  
 販売代理店募集中 製造元 WEBGATE

# MNSの現状と将来

緊急事態が発生した時、何よりも重要なのは効果的なMNS(Mass Notification System：一般通報システム)だ。9.11のテロ攻撃やバージニア工科大学銃撃事件などの人為的な事件でも、ハリケーン・カトリーナのような自然災害でも、こうした悲劇は効果的な一斉通報に対する差し迫った要求を浮き彫りにした。IMSリサーチ社によると、MNSの売上は2010年、北米だけで12億ドルを超え、世界トップクラスの火災安全装置供給企業の重要な収益源に浮上している。本稿では、この急成長中の市場がどのように進化してきたかを振り返り、意識の向上や法制化のきっかけになった悲劇的な事件への反応として、どのような方向に発展しつつあるかを検証する。

MNSとは、緊急事態発生を多くの人々に通知するという概念で、我々の社会に何十年も前から存在している。教会の鐘や電報、ラジオやサイレン、拡声装置に至るまで、MNSの目的は死傷者が出るリスクを減らすことである。

そのため、MNSとは1つまたは複数の集団に向けて、現在進行中の状況や発生済みの状況に関する情報を同時通報し、人々が自分の身を守る最善策を講じられるようにするための、様々な手法の集合体である。システムや手法が不適切であり、非常事態の警報が不十分な場合、悲惨な結果を招く虞がある。

例えば、2001年9月11日、ニューヨークの世界貿易センターが攻撃された時、既存の電気通信は利用者が殺到して過負荷状態になり、部署間の相互運用性が欠けていたため、救急隊のスタッフが連絡を取りづらいうちに陥った。そのため、NY警察署のヘリコプターが発した警告を警官が受信していたにもかかわらず、多くの消防士は受信することができず、それが原因で命を落とす結果になった。

同様に、バージニア工科大学では、当時既に電子メールとテキスト通知を含むMNSがあったにもかかわらず、実施に関する全体的な取り決めが欠けていた。その結果、警告が送信されたのは最初の銃撃が起こってから2時間半が経過した後だった。さらに、大部分の学生と職員は電子メールやモバイル端末を適時にチェックできなかったため、警告を送っても結局は無意味だった。

ハリケーン・カトリーナと呼ばれるカテゴリ5のハリケーンがニューオーリンズを襲った時、発電所、インターネット・サーバ、携帯電話タワー、911サービスをはじめとする既存の緊急通信システムが完全に破壊された。さらに、連邦政府

の救護スタッフが携行した衛星電話は使えたが、相互運用性がなかった。その結果、個人が放送したWWLラジオ局など少数のアマチュアラジオ局が、救護活動の主な連絡手段になった。

## 米国ではMNS条例が業界を規制

統合したMNSに対する需要は大きくしかも明確だ。「国際災害研究所の調査によると、緊急事態で死亡した人々の60%は、どう行動すべきかわからないために死亡したと推定される。有名大学や官公庁ビルで起こった最近の悲劇でも、このことが証明されている」とボッシュ・セキュリティ・システムズ社マーケティング・マネージャのマーク・アンダーソン氏は語る。大量の死傷者を出した不幸な事件により、MNSの法制化が急ピッチで進められた。

例えば、「米国のクレリ・アクト法は、今後も続くであろう公共政策決定の傾向を示す代表例だ。このような全国的な法律は、最終的に州レベルで同様の対策が採用される原動力になる。波及効果は州立大学だけでなく私立大学にも浸透し、最終的には全学区が対象になるだろう」とライフ・セイフティ・デザインズ社契約セールス担当副社長J.R.シーケス氏は語る。

具体的には、米国防火協会(NFPA :

NationalFireProtectAssociation)のAlarmandSignalingSystemsCode2010/UFC4-021-01/UL2572といった条例は、エンドユーザが従うべきMNSの要件を規定するものだ。クーパ・インダストリーズ社マーケティング担当副社長デッド・ミルバーン氏は次のように語る。「2007条例でも2010条例でも、米国各州の様々なレベルでこれらの条例を採用しなければならない。採用された条例は、その州でのMNSの運用に影響を及ぼす。条例の改定は非常に多く、一斉通報と市民との相互作用や、システム間の相互作用に関する問題解決が始まりつつある。そのため、異なるMNS同士の相互運用性について考える時、条例がその出発点になる。それにより、メーカーからエンドユーザに至るまで、全ての関係者が指針として条例に注目している」。

まず、NFPA72の2010年版で、対象範囲が警報システムの枠を超えて広がり、MNSの組み込みが必須になった。わかりやすさや通信範囲に関する仕様が示され、建物内だけでなく屋外環境も含まれるようになった。アンダーソン氏は次のように言う。「北米でMNSに必要な新技術や機器に影響する最大の要因は、NFPA72条例の2010年版に加えられた抜本的な変更だ。これらの変更によりNFPA72の対象範囲が広がり、火災警報



だけでなく、その他の人命保護システムも含まれるようになった。重要な変更の1つが、緊急事態の発生を知らせるとともに、適切な対応を速やかに実行するために必要な情報を伝達するという具体的な要件が加わったことだ。

次に、米国国防省の施設用MNSの設計と運用と保守に関する要件が統一施設

基準(UFC)により示されている。シーケス氏は次のように語る。「UFCはかなり前に設立され、MNSの導入と規格について先導者の役割を果たしてきたのは事実である。しかし、UFCが軍隊と民間や大学や産業界との橋渡しをしているという制約から、民間とは異なる考え方や、商業的環境には普通存在しないような運

用上の考慮事項を前提に規格が作成されていた」。最終的にUL2572で、一斉通報制御ユニットと周辺機器の試験基準と機能基準が示されることになった。

## 技術進歩と一斉通報

MNSは技術進歩とともに進化してきた。アラトゥス・テクノロジーズ社国家

## 米国のMNS市場は条例が全て

興味深いことに、条例は意外にもMNS市場の足かせになるのではなく、MNS市場の急速な成長に貢献してきた。クーパ・インダストリーズ社マーケティング担当副社長テッド・ミルバーン氏によると、条例はMNSの指針や基準としての役割を果たしている。「標準化によりシステムの信頼性が保証されるため、標準化こそ正しい方向性だと当社は考えている。今後も条例に準拠した製品を確実に提供していく」と同氏は言う。「MNSの基本要件を詳しくチェックすると、ほとんどのエンドユーザが現行のシステムに不備を発見し、条例に準拠するようなアップグレードを専門企業に依頼することになる。それが業界の成長に繋がっている」。

一方、MNSに関する条例はメーカの技術革新の牽引役にもなっている。アラトゥス・テクノロジーズ社の国家安全ソリューション担当副社長リック・ティエン氏が指摘したように、改定済みの現条例は、より新しい警報技術について指針

高の実用性から進化したものであることを保証するには、標準化は歓迎すべきで、必要なプロセスである」とシーケス氏は語る。

例えばアラトゥス社が開発したアラート・ビーコンズは、緊急通信システムに関するNFPA-2010ハンドブックの第24章で、効果的な建物内警報ソリューションとして紹介されている。「このソリューションは既存の拡声装置よりもわかりやすく、信頼性の高い無線オプションや、1本のケーブルで統合するPoE(Power-over-Ethernet)を使用して古い設備を改良する場合、実用的なソリューションだ」とティエン氏は言う。

同じ考え方に基づいて、ボッシュ社はUL2572への準拠を目指して自社のプラエシデオMNSを刷新している。ボッシュ・セキュリティ・システムズ社北米PAシステム担当プロダクト・マーケティング・マネジャのマーク・アンダーソン氏は、次のように語る。「このシステムはNFPA72のパフォーマンス要件に対応する見込みだ。この中には北米の条例だけでなく、国際的な規約や、SOLAS、EN54など外国の条例も含まれる。他の重要なエンドユーザ要件は冗長性で、具体的には、ケーブル接続や予備アンブへの自動切り替え、予備の48VDC電力な

どがある」。

このような状況から、ライフ・セイフティ・デザインズ社の契約セールス担当副社長J.R.シーケス氏は次のように語る。「NFPA71-2010にMNSが組み込まれたことは、MNSシステムにとって大きな飛躍で、人命保護システムとしての『合法性』が証明された。軍隊以外のMNSシステムを対象とした、非常に複雑なシステムの設計/導入/検査/保守に関する指針は、本当に必要なものだった。

時の経過につれ、実際の経験から得られた教訓や技術進歩に伴い、急変するMNS環境の問題に対処するため、新しい条項をさらに追加していこう。同時に、新しい規制がMNS市場に完全に反映されるには、時間が必要であることも忘れてはならない。コード・ブルー社最高執行責任者デビッド・クック氏は次のように語る。「民間組織の緊急対策計画が今すぐ細部まで変更されるとは思わないが、市場ではNFPA71-2010の改定を契機に計画を手直ししているという声をよく耳にする。既存の火災制御盤を利用して一斉通報を実現することに関心が集まっている」。例えばコード・ブルー社の場合、既存の火災制御盤からの警報を学校構内MNSに送信可能なIP音声インタフェイス(IAI)を提供している。



を示すことを意図している。「MNSの分野で提供される製品やサービスが最高の品質を備え、最

安全ソリューション担当副社長リック・ティエン氏は次のように語る。「過去10年から15年間で、警報技術は進化した」。単純な音声装置やサイレン装置が、屋内外用の最先端の警報手段だった時代が長く続いた。聴力に問題のある人々の便宜を図るため、MNSにストロボが組み込まれるようになった。

しかし、「より効果的な警報ソリューションが実現可能になった背景には、ソフトウェアとハードウェアの進歩がある。電子メールシステムとテキスト・メッセージ・システムが普及し、デスクトップ上にポップアップを表示することで、全てのコンピュータ画面を警報ステーションに変えることができるようになった」とティエン氏は言う。

「MNSで最も急速に成長している分野といえば、個人用の通知デバイスを取り巻く技術だ。今では、誰もが楽々とスマートフォンを使いこなしている。MNSプロバイダの立場では、この方法論をソリューションに取り入れる必要がある。個人がどのようにして情報を受け取るようにするか？MNSの中でもこの部分が最も速いペースで変わりつつある。しかし、たった1つの手法をMNSの基盤にするわけにはいかない。最終的には危険度分析が必要だ」とミルバーン氏は指摘する。

さらにコード・ブルー社の最高執行責任者、デビッド・クック氏は、MNSの技術統合が進んでいることを指摘する。「去年1年間で市場に出現した新技術は、合衆国連邦緊急事態管理庁(FEMA)の公共一斉通報システムIPAWS(Integrated PublicAlertandWarningSystem)とMNSの統合に関連する技術だ」。例えば、コード・ブルー社のブルー・アラートMNSは、公共システムと民間組織間の



ボッシュ・セキュリティ・システムズ社  
マーケティング・マネジャ  
マーク・アンダーソン氏



ライフ・セイフティ・デザインズ社  
契約セールス担当副社長  
J.R.シーケス氏



クーバ・インダストリーズ社  
マーケティング担当副社長  
デッド・ミルバーン氏

双方向の警報を可能にした認可済み警報局である。クック氏はさらに、一斉通報への全体論的なアプローチにおける重要な構成機器として、携帯技術と複数の異種プラットフォーム間の情報配信を可能にするシステムとを挙げている。

## MNSのIPへの移行

セキュリティ業界ではIPへの移行が着々と進んでおり、MNS市場でも同じ現象が起こっている。IPベースの製品への移行によりMNSソリューションにどのような影響が及ぶかについて、シーケス氏は次のように語る。「IPベースの製品は、既存の社会基盤や無線対応で設計した旧来システムの冗長性を有効に利用するための新しい方法を、メーカーと設置業者、エンドユーザに示している」。例えば、「高等教育機関など様々な市場にIPベースの機器が進出し始めている。こうした市場では、既存の社会基盤に相乗りする形で各種のMNS構成機器を組み込む手段を顧客が探している」とシーケス氏は付け加える。

同時に、クック氏は次のように指摘する。「時代の流れはIPだとしても、火災警報や緊急通信にはおいてはアナログシステムが多数使用されているという事実を、MNSシステム供給側は意識すべきだ。設置業者はIPだけのMNSシステム

に移行する前に、この事実を目を向ける必要がある」。

## 市場と業界の展望

世界的な景気後退の影響はMNS業界にも例外なく及んでいるが、大量の死傷者を出した悲劇的な事件の発生を契機として、MNSへの認識が高まったケースが多い。「そのような性質の事件が起こると、MNSについての議論が活発になり、今後同じような状況が起こった場合、もっと的確に対処するにはどうすればよいかという問題に関心が移る」とシーケス氏は言う。MNSが急成長している主な市場は、学校構内と医療と地方自治体の3つである。これらの分野では、危機管理とMNS社会基盤の相互運用性に基づいてエンドユーザ要件が決まる。「例えば、医療施設のMNS設計では、空気感染する病気のリスクも考慮しなければならない」とミルバーン氏は語る。

地域別の成長率という観点から、ミルバーン氏が最大のMNS市場として挙げるのは米国である。「米国ではMNSを10年前から認知し、一部の施設については、連邦法によりMNSが義務化されている」とミルバーン氏は語る。「そのため、当社では米国市場が他の地域よりも大きいと認識している」。



# 多層化による効果的なMNS

今日、対象となる人々に情報を提供する方法はいくつもある。複数の連絡手段が存在する時代で、エンドユーザはMNSの手段を既に1つないし複数持ち合わせている傾向がある。たった1つの手段に頼り切るのは危険であり、悪くすれば悲惨な結果を招きかねない。そのため、エンドユーザが長年にわたり様々なベンダのMNS手段を購入してきた経緯から、手持ちのシステムの有効利用を要求される場合が多い。結果的に、エンドユーザのこうした要望と固有の要件により、実装の際に難題が生じることになる。本稿では、業界が提供しているMNSソリューションと、それにより実装や運用の問題をどのように克服できるかを検証する。

## MNSの多層化

今日、効果的なMNSを実現するには、屋内外を問わず広く分散した人々への情報伝達が必要になる場合が多い。クーパ・インダストリーズ社マーケティング担当副社長デッド・ミルバーン氏の見解によると、MNSは個人用、屋内用、屋外用の3種類のソリューションに大別される。「そもそも、統合という考え方が最初からあったわけではなく、あらゆるソリューションを一元化した統合ソリューションは、今でもそれほど多くはない。私の考えでは、近い将来、MNSはこの方向で進化していくが、今のところ、ソリューション・プロバイダ間の相互運用性はそれほど期待できない」とミルバーン氏は言う。

多層的なアプローチが重要である。例えば、現代社会では個人用通信機器が非常に普及し、大衆向け情報伝達の有効な手段になっているが、それだけに頼り緊急通信を行うのは危険である。「個人用通信機器向けに重要な情報を発信しても、すべてのPDAユーザやスマートフォン・ユーザに情報が届くとは限らない点に注意する必要がある。機器の電源が切られていたり、サイレントモードになっていたり、車の中に置き忘れられたり、リュックサックに詰め込まれていたり、騒がしい環境で使われる場合もある。地



形的な条件により電波の受信状態が悪い場合もある。このような制約に対応するための鍵は、音声警報システムなど主要な緊急通信手段の統合だ」とシーメンス・ビルディング・テクノロジー社MNS担当ポートフォリオ・マネージャのホルガ・ジャンカ氏は語る。

さらに、「個々の層が統合されていないければ、混乱や非効率性の原因になり、最終的にはリスクが増大するおそれがある」とアラトゥス・テクノロジー社の国土安全ソリューション担当副社長リック・ティエン氏は語る。このように、効果的なMNSを実現するには、個人用通信機器を使用する一斉通報に加え、3種類のソリューション全部を統合

し、対象となる人々に重要な情報が確実に行き渡るようにする必要がある。

## 実装上の課題

ほとんどの施設には、長年にわたり導入されてきた様々な方式のMNSが既に存在する。こうした過去の投資を無駄にしたくないというのが、多くの顧客の要望だ。

「コストの観点からは、既存の社会基盤を利用し、MNSの各層を随時追加していくことが可能であり、新しい製品が旧システムとの下位互換性を備えていれば、MNSの導入コストを削減することができる」とセイフティ・デザインズ社契約セールス担当副社長J.R. シーク

ス氏は語る。そして、複数の形式の MNS を既に所有している組織向けの集中型の起動ポータルを開発するにあたり、MNS で管理する一般的なプロトコルに無関係なシステムを結びつけるのは「困難をきわめる仕事」だとシーケス氏は言う。

例えば、シーメンス社がフロリダ州立大学の依頼に応じて、総合的な MNS の開発および実装を担当した時、同大学には既に 32 種類の緊急通信方式が存在した。ジャンカ氏によると、この案件の複雑性に関連する問題点は 2 段階構えだった。「冗長性を確保し、過去の投資を最大限に活用するため、『中継』構成機器の大部分をそのまま維持しながら、一連のサードパーティ製機器とソフトウェアを当社が開発した専用の MNS サーバで管理し、シームレスなアーキテクチャに組み込むシステムを設計することが要求された」。

これに対応して、シーメンス社は「最新の通信機能とのインタフェースを通じて情報を伝達できる既存の社会基盤投資を活かした」ソリューションを提供した。具体的には、「複数の異なる通信層を中央の起動ソリューション/ポータルに取り込む統合型のマルチモード・アプローチにより、能率的な起動と全メッセージ層にわたる一貫性を確保した」とジャンカ氏は語る。さらに、シーメンス社が提供した「ez ボタン」により、警報システムの起動時間を必要に応じて最大 20 分から 2 分未満に短縮することができる。

代理店兼システム構築企業セイフティ・デザインズ社は、CAP、HTML、XML、SMS、SMTP などの一般言語を使用してメッセージ入力を標準化することの重要性を強調する。「さらに、エン

ドユーザが操作する GUI インタフェースでは、『ワンタッチ、ワンクリック』の操作ボタンを使用して MNS メッセージを簡単に送信できなければならない。広域、屋内、個別警報など、MNS の全層で瞬時に警報を送信できるようにする必要があり」と、シーケス氏は言う。

そして、MNS は明瞭であることが重要だ。明瞭とは、伝達情報がはっきりと聞き取れることであり、多くのシステム構築企業にとり目新しい要件である。「音が大きいからといって明瞭とは限らない。しかも多くの場合、音の大きさと明瞭性は相反する」とボッシュ・セキュリティ・システムズ社米国 PA システム担当プロダクト・マーケティング・マネージャのマーク・アンダーソン氏は指摘する。さらに、「システム構築者は、例えば誰がどんなテストを行うのか、あらゆる環境条件を克服するにはどの程度の音圧レベルが必要かといった点についても理解しておく必要がある。環境に適した音声など、情報の送信範囲に合った適切な製品も必要だ。その上で、現地の行政および監督機関が試験完了を確認し、システムは晴れて合格ということになる」とアンダーソン氏は付け加える。そのため、ボッシュ社では、音響設計に関する豊富な経験と知識に加えて、音声

モデリングを支援する音響技術者のチームを作り、高い信頼性を提供している。

## エンドユーザが直面する課題

エンドユーザが直面する最大の課題は、緊急警報システムの費用と処理能力である。「MNS は、組織内に存在する他の技術システムとは異なり、日常的に使うものではない。それにもかかわらず、MNS に要求される処理能力は膨大となる場合がある。そのため、技術部門の意思決定者にとっては、無駄なコンピューティング容量としか思えないものに何千ドルも費やすのが腑に落ちない場合が多い」とコード・ブルー社最高執行責任者デビッド・クック氏は語る。

「特に通信技術分野では、技術開発により新しい機器が続々と出現しているが、顧客の要望や予算状況を理解することも重要だ。経済的な問題と通信の効率性や信頼性といった問題を天秤に掛けざるを得ない」とジャンカ氏は付け加える。処理能力の確保について、ジャンカ氏は次のように語る。「複数の連絡手段が存在することでスパム・メッセージが過剰に増えることを心配して、うまくバランスが取ればと考える人が多いが、一般に情報発信は不足よりも過剰の方が良しとされる。とはいえ、システムの運



シーメンス・ビルディング・テクノロジ社  
MNS 担当ポートフォリオ・マネージャ  
ホルガ・ジャンカ氏



アトウス・テクノロジーズ社  
国土安全ソリューション担当副社長  
リック・ティエン氏



コード・ブルー社  
最高執行責任者デビッド・クック氏



用方法は顧客により異なり、緊急対応や通信手段に関する顧客の文化によって決まる」。

## 今後の展開

MNS 市場では、今なお進行中の法制化により業界全体が方向づけられる。「商業施設、教育機関、産業施設など様々な領域での MNS の制度化や実施に影響する法律の制定は、決定的な収益要因になるだろう。条例の改定や要件の明確化により、最善策を形成し、引き続き全てのメーカーが製品の品質維持に努力することになる」とシーケス氏は語る。

「新しい NFPA 基準が北米全体に行き渡るにはあと 2~3 年かかる。2013 年の

終わりか、2014 年の初めには、ほとんどの州がこの新しい基準を採用すると予測している。一般に、この種のシステムは、ソーシャルメディア通知システム向けのアプリケーションを追加することで、より柔軟で使いやすいものになる」とアンダーソン氏は付け加える。さらに、「設計と製造工程の技術革新により、初期導入費用だけでなく運用中のシステムの保守点検や修理の費用も低下するはずだ」とシーケス氏と言う。

さらに、何らかのイベント発生時に、よりの確な対応をするための機構を提供することが目的である高度情報処理対応システムの中で、MNS は出色の構成機器だとジャンカ氏は付け加える。「MNS

では、間違いの起こりやすい手動プロセスの多くを自動化機能によって排除できるからだ」。

クック氏の予測によると、今後の MNS は、人々の役割分担や所在地に基づいて、従来以上に「要求に密着した」情報を伝達するようになるという。

「例えば、学生向けの MNS 内容は、教職員向け情報と同じである必要はない。また、通信の輻輳が起ると MNS 通信に時間がかかる場合があるので、事件発生現場に近い場所の受信者に優先して警報を送る必要がある。組織の緊急対応プランが効率化するにつれ、MNS に対するニーズも高度になる」とクック氏は語る。

**ANS**



# DynaHawk™ W8シリーズ

## 5M ピクセル360度 全方位、赤外線LED 付 IP カメラ



### 会社概要

DYNACOLOR JAPAN株式会社は2006年6月に台湾DYNACOLOR INCの日本法人として設立され、同社製品の日本市場拡大を担っている。DYNACOLOR INCは1991年に設立されAOI(光学検査装置)を手始めに、その卓越したイメージプロセッシングの技術を活用し、CCTVの世界へ参入した。独自のマーケティング手法で市場の要求する製品を先行開発し、タイムリーに新製品を市場投入することで急速に市場シェアを拡大している。開発・設計・製造・販売を一貫して自社で実施する事で高性能、高品質、短納期、低価格を実現している。

**DYNACOLOR**  
always watching

**DYNACOLOR  
JAPAN**

〒102-0093  
東京都千代田区  
平河町1丁目1番1号  
平河町コート202号室  
TEL +81-3-3265-0037  
FAX +81-3-3265-0038  
www.dynacolor.co.jp  
info@dynacolor.co.jp

### 製品概要

Dynacolor社はパノラマビューレンズ搭載、360度全方位監視ができ、最大5メガピクセルの高解像度で高精細な画像を提供するIPカメラ、DynaHawk™ IPカメラW8シリーズを販売開始致しました。これ1台で4台のIPカメラを置き換えることができます。防塵・防水仕様の頑丈な筐体は、劣悪な設置環境でも安心してお使い頂けます。クラウド・コーデックでインターネット環境に左右されず、いつでも最大の圧縮率を実現し、4つのストリーミングから最適な解像度を選択できます。また、内蔵の赤外線LED照明とIRカットフィルター機能で、暗闇でも鮮やかな画像を録画できます。DynaHawk™ W8シリーズは、高解像度録画中でもモバイルデバイスによってライブ画像を見ることが可能で、ホテル、病院、店舗、駐車場、工場など様々な用途で高いレベルの監視システムを構築できます。さらに、当社独自の垂直表示モードを使用して、広い範囲を効率良く監視できます。

### 特長

- ① 5M プログレッシブ・スキャン・CMOS
- ② クラウドコーデック: H.264 ・ハイ / メイン / ベースライン・プロファイル、MJPEG
- ③ 垂直表示モード (9:16表示)
- ④ 360度パノラマビュー / EPTZ (デジタルPTZ) / 4分割画面表示
- ⑤ 新開発・高機能・昼 / 夜監視
- ⑥ 赤外線LED標準搭載
- ⑦ マイク / スピーカー搭載

### 主な仕様

モデル	W8	
カメラ	5M プログレッシブ・スキャンCMOS	
イメージセンサー	2592 (H) x 1944 (V)	
有効画素数	2592 (H) x 1944 (V)	
レンズ	1/25" 全方位レンズ	
焦点距離	1.05 mm	
F値	F2.8	
操作		
圧縮方式	H.264 ベースライン / メインプロファイル / ハイプロファイル / MJPEG	
ビデオストリーミング	シングルストリーム: 2592 x 1944 (12 fps)	
	同時出力 H.264 1080p (25 / 30 fps) + MJPEG / H.264 D1 (25 / 30 fps)	
	クアドストリーム	
解像度	H.264	5M (2592 x 1944) / 3M (2048 x 1536) / フルHD 1080p / SXGA / HD 720p / XGA / SVGA / D1 / VGA / CIF
	MJPEG	フルHD 1080p / SXGA / HD 720p / XGA / SVGA / D1 / VGA / CIF
一般		
環境温度	-10° C ~ 50° C	
外形寸法	∅ 149 x 45.8 mm	
質量	350 g	
電源	DC 12V / AC 24V / PoE	
消費電力	最大12W	

# 不安には、 盗難警報装置で対応

費用対効果が高く、導入が簡単な赤外線探知器は、家庭や私有財産の防犯対策として定番になっているが、誤認率や見落とし率が高いのも事実である。既存技術で起こりがちな問題と、こうした問題に警報装置メーカーがいかに対処しているかを検証する。

## 脅威はあらゆる場所に

保護された安全な環境の重要性がますます強く意識されるようになった今日、情報処理機能を備えた警報装置システムの開発に従来以上の予算を投入して取り組んでいるメーカーが多い。「信頼性の高いセキュリティを要求する人々が増えた結果、侵入防止市場が成長しつつある。誤認による警報発生を防止してほしいという顧客のニーズが高まり、複数の技術や高度な情報化に基づいて警報の生成を判断可能で先進的なセンサへの買い替えが進んでいる」とボッシュ・セキュリティシステム社上級プロダクトマネージャのミハエル・ライマ氏は語る。「総所有コスト(TCO)に対する意識が高まっている。安価な探知器を利用して数ユー

ー

ー節約できたとしても、探知器の設定や調整に必要な時間や、誤認警報の頻発により、結局は探知器そのものの値段よりはるかに高いコストが発生しかねない。

セキュリティ市場は国民総生産(GNP)の伸びに比例して成長している、一部の発展途上国で業種別のセキュリティ上の問題やテロの脅威が不安視されるようになり、侵入警報システムの需要の増大が顕著だ。「一般にセキュリティ市場の成長率はGNP成長率と比例する。ところが、GNPよりも高い成長率が見られる事例ある。例えば、インドでは大規模なテロ事件が発生してから、セキュリティ投資額が通常の成長率を大きく上回る勢いで伸びている。シナイで起こった事件により、エジプトでもセキュリティ投資

が活発化すると思われる」とマガル・セキュリティ・システムズ社ゼネラルマネージャのハガイ・カツ氏は語る。「この2年間、アフリカ、メキシコ、アジアで売上が伸びた。船舶と港湾施設の保安用国際コード(ISPS)の順守を義務づけられている港湾施設での売り上げが伸びている。次の成長分野はソーラーファームだ」。

侵入警報装置の市場は明確に成長の一途をたどっているため、より先進的で使い勝手のよい侵入警報装置が続々と開発されている。タイコ・セキュリティ・プロダクツ社プロダクトマネジメント担当取締役レオン・ラングライス氏は語る。「侵入警報分野に関する世界的な成長予測では、最大の成長分野は屋外用探知器で、IMSリサーチ社アナリストは2015

年までの年平均成長率を9%と見ている。当社では無線製品のほか、無線の特長である導入の手軽さに有線方式受信盤の高い性能や抵抗器を組み合わせたハイブリッド・ソリューションも大きく成長すると見込んでいる」。さらにラングライス氏は、無線システムの技術はバッテリー寿命、通信範囲や信頼性などの従来の問題を難なく克服しているため、商業地区で今後ますます普及するだろうと言う。「屋内用無線探知器については、2015年までの年間成長率を約5%と予測している」。

## 誤認警報の原因

侵入警報装置業界を常に悩ませてきた最大の問題は、誤認警報の発生率だ。業界が急速な市場の成長に対処していくには、誤認警報を最小限に抑える方法を何としても発見しなければならない。有力な侵入警報装置メーカーは、誤認警報問題を克服するための手段を絶えず模索している。

誤認警報を引き起こす要因は、設置先環境により様々だ。「用途に合った探知器を選ぶことが、パフォーマンスを確保する上できわめて重要だ。銀行などで使用しているグレード3の探知器は高度なセキュリティ要件に対応しているため、小規模店舗のようなグレード2の用途で使用してはならない。グレード3の効能を達成するには、約50%高い感度

が必要だが、グレード2の設置場所では誤認警報を引き起こすおそれがある」とライマ氏は語る。

センサが正しく取り付けられていないため、誤認警報が発報することもある。「侵入防止システムで発生する問題の多くが、センサが正しく取り付けられていないのが原因だ。受信盤に適切な信号を送信するには、ドアの接点が正確に一致している必要がある。誤認による検知や、検知の見落としを防ぐには、動体センサの電源と検知技術が適正で、センサが正しく取り付けられている必要がある。例えば、直射日光のあたる場所は動体検知に適していない」。

同時に、設置作業を慎重に行い、ユーザ・マニュアルの指示を守るだけで問題が解決されるという事実もライマ氏は指摘する。ラングライス氏は、無線センサの設置について、次のように評している。「無線に関しては、センサの取り付けが依然として最も重要だ。熟練していない技術者でも適切に設置できるように、無線周辺機器の中に機器が適切な場所に取

り付けられているとLEDが点滅するものがある」。

要求を完全に満たすシステムを選択するには、検知器を適切に取り付けるだけでなく、様々な点に注意を払う必要がある。「システム導入を成功させ長寿化するには、無線強度や通信範囲、バッテリー寿命についても考慮する必要があり、設置者は無線システムの選択に慎重であるべきだ」とラングライス氏は言う。

設置作業のミスが誤認警報の唯一原因ではない。全体的な技術環境も、セキュリティ侵入防止システムの安全性を損なう原因になるため、軽視するわけにはいかない。「堅牢な無線システムほど、顧客の施設内で発生するノイズや、他の機器やシステムからの干渉の影響を受けにくい。これは、システムを正しく設置したかどうかとは無関係だ。干渉によりセンサがオフラインになると、誤認警報が発生する」とラングライス氏は語る。

## 誤発報率の低減

誤認警報の原因を防止するため、メーカー側でも様々な戦略を実行している。「各種センサから収集した全情報をマイクロプロセッサに送り、センサ・データ・ヒュージョンという複雑な信号処理アルゴリズムを使用して分析している」とラ



イマ氏は語る。「従来の動体検知器のように、単にパルス数を計数するのではなく、振幅やタイミング、極性などの実際の信号データに注目し、それに従って、他のセンサの警報閾値を調整する。データが、警報を発令すべき状況を示しているかどうか、真に情報に基づいた判断を下すことができる」。

タイコ社も独自の戦略で誤認警報発令率を最低限に抑えようとしている。「侵入警報システムの誤認警報の主要原因は3つあり、ほとんどの設置場所で簡単に是正することができる」とラングライス氏は言う。「動体センサの不適切な配置をはじめとする設置やプログラミングに問題があると、センサビームの角度

が2〜3度ずれているだけでも誤認警報の頻発につながる場合がある。PIRとマイクロ波センサの両方が動きを検知しなければ警報が発生しない2つの別個の技術による動体センサを正しく使用すると、誤認警報低減に極めて効果的だ」。

ラングライス氏はさらに、誤認警報率を低下させるにはエンドユーザも責任を果たすことが重要だと指摘する。「システムができるだけ簡単に操作可能とすべきだが、導入を成功に導くには、住民がシステムについて適切な講習を受けることも必要不可欠だ」。

気象条件などの環境的な要因がトラブルの元になることもあるが、センサー(マガル・セキュリティ・システムズ)社常務取締役ヨハンソン・マリィ氏の考えによると、こうした問題は適応技術を使用するシステム導入により解決することができる。「積雪や照度また気温の変動があっても、こうした可変特性に適應するシステムであれば、実際の脅威と誤認警報とを区別できる」。マリィ氏はさらに次のように指摘する。「マイクロ波世界の主要な新技術とは、強度の変化や各種の周波数、特性の変動をシステムで処理するための新しいデジタル処理機能



ボッシュ・セキュリティシステム社  
上級プロダクトマネージャ  
ミハエル・ライマ氏



マガル・セキュリティ・システムズ社  
ゼネラルマネージャ  
ハガイ・カツツ氏



タイコ・セキュリティ・プロダクツ社  
プロダクトマネジメント担当取締役  
レオン・ラングライス氏

だ]。気候や気温の変動に適応することができるシステムであれば、不安定な気象条件が誤認警報を引き起こす要因にはならない。

## 英国と欧州の侵入警報装置規格

侵入警報装置の設計や変更は、2012年6月1日から施行されている警察通報システムに関するPD6662:2010およびBS8243に基づくEN40141:206規格に準拠する必要がある。

欧州では、警報システムに関する要件が国ごとに異なる場合が多い。そのため、侵入強盗警報システムを設置する場合は、保険会社が承認する基本的な規格に従って設置し、警察対応とする必要がある。

欧州では、警報装置供給会社や設置業者の大部分が、装置の設計と設置そして保守の信頼性を確保するため、英国の一



連の規格に準拠している。周波数制限や放射制限などの規格は、設置業者と供給会社に多大な影響を及ぼす。「欧州と英国の警報装置規格は、現実のセキュリティ・アプリケーションやリスクのレベルに基づいて、捕捉性能や誤認警報防止

の要件を規定する役割を果たしている」とライマ氏は言う。「当社は、規格以外にも多くの点で、自社製品の性能を非常に明確に差別化できると考えているが、これらの規格で義務づけられている最低限の要件は、この業界が信頼性の高い製

## asmag.comを使えば、 貴社ウェブへのアクセス件数が上昇!

- ✓ 毎月32,000人以上のセキュリティ専門家がasmag.comを訪問
- ✓ asmag.com訪問者は米国や欧州、セキュリティ市場の新興国から幅広い
- ✓ 80%以上の訪問者は購買決定権保有者
- ✓ asmag.com onlineの訪問目的は、製品や企業の情報などの収集
- ✓ 既に2,000以上の会社がasmag.comと契約し、オンラインで事業促進中

さあ、貴社もasmag.comに参加しましょう!  
詳細は下記までどうぞ

[www.asmag.com](http://www.asmag.com)

asmag.com  
Global Security Web





品を顧客に提供しているという評判を高めるのに役立つだろう」。

さらに、欧州の全般的な経済状況に対応するため、いくつかの規格の策定や変更が行われている。「英国と欧州での変更の第一要因は景気後退だ。文化に関しては、欧州人は一般にフェンスを好まないの、仮想フェンスを設置することが多い」とカツ氏は指摘する。「電波放射

の制限や周波数、帯域の割り当てについては、欧州や英国固有の要件に対応しなければならない。そのため、国ごとに、規格到達を何度も確認しなければならない場合がある。帯域幅に関する規定は、各国に任されている。以下の例のように各国で自由帯域が存在するが、これらの帯域では出力を制限する傾向がある」。

欧州：ETSI規格EN 200 440 (Europe Harmonized) 24.00~24.25GHz、最大出力20dBm (100mW EIRP)

北米：FCC規格15.245. 24.075~24.175GHz、最大出力32.7dBm

「自由周波数以外については、輸入機器1台ごとにライセンスを申請しなければならず、ライセンスが特定の場所に限定される場合がある」。

英国と欧州の侵入警報装置規格は、侵入検知器業界に多大な影響を及ぼす可能性があると考えられる人もいるが、一方であくまでも欧州限定だと考える人もいる。「欧州各国では、保険業界の要請により今後5年以内に、大部分の住宅用検知器や侵入検知受信盤がグレード3認定を義務づけられ、高度なアンチマスキング機能と、グレード3の要件に準拠した検知信号が使用されるようになると予測している。さらに、グレード4も遠からず承認される見通しだ。ただし、このような要件は欧州だけの話であり、世界的な侵入防止市場にはそれほど影響しないと見ている」とラングライス氏は述べている。



## PIR、AIR検知器の誤認の主な原因:

1. 無線周波障害や電磁妨害への耐性不足が原因で生じる信号干渉
2. 侵入行為の感知精度の不足
3. 気温変動や強い光に対する脆弱性
4. 侵入行為や検知器に関する通知を行うサーバに、機器を過剰に接続することにより生じるプログラムの反復
5. 透明な筐体の角度に設計上の問題があり、センサが誤って光を受信
6. 内部照明構成部品の角度設計ミス
7. PIRの取り付け不備による機器の有効性の低下
8. 技術の未熟さで不完全システム設計となり、誤認警報の発生率が增大
9. 複数の検知システムの誤った適用による信号干渉
10. 互換性維持のため、感度や検知距離、パラメータや温度補正を誤設定したり、設定を忘れていたりした場合



# 最も簡単に セキュリティの世界を知るには・・・

各国版の雑誌をご用意しました。

- 詳しく中立的な市場情報を提供します。
- 最新技術を解説および紹介します。
- 案件およびソリューション設計を指南します。



さらに詳しい情報は、下記にメールをお送りいただくか、下記 URL にアクセスしてください。  
E-Mail : [intl@newerafrankfurt.com](mailto:intl@newerafrankfurt.com) URL : [www.mfnewera.com](http://www.mfnewera.com)

# 動体検知センサの先端技術

最先端の探知システムは、個々の侵入警報装置を正しく適用して初めて成立する。最近提供された侵入警報装置の重要な技術について、その応用方法と強力な検知システムを構築する上でどのように役立つかについて検証する。



## 環境への悪影響を最小限に抑え、侵入者を検知

(1. サウスウェスト・マイクロウェーブ社 330: P1 of I164-24-1.PDF)

囲い線や空き地、通用門や外壁、屋根などに設置して使用する容積測定式の周辺監視システム INTREPID MicroWave 330 は、サウスウェスト・マイクロウェーブ社の実績あるマイクロ波探知技術である。環境への悪影響を最小限に抑えた警報で侵入者を検知し、最高の信頼性を実現する。先進のデジタル信号処理 (DSP) により、侵入警報装置やいたずら検知スイッチの状態、受信した信号の強度、検知パラメータの連続監視が可能だ。

Kバンド (24.125 GHz / 24.162 GHz) の周波数で動作する MicroWave 330 は、Xバンドのセンサよりも高性能だ。Kバンドの周波数はXバンドより2.5倍高く、侵入者によって生じるマルチパス信号が集中しているため、侵入者の検知能力が高いからである。Kバンドの周波数は、空港、港湾のレーダなどのマイクロ波システムからの干渉も受けにくい。

MicroWave 330 のアンテナビーム幅は、水平面および垂直面で約 3.5 度である。真のパラボラアンテナを使用して、長時間の動作や卓越したビーム制御、予測性の高いフレネルゾーンを実現している。また、部分的または完全なビーム遮断、信号レベルの上昇または下降、他の送信機からの電波妨害を検知した時点で警報を発する先進の受信機設計により、検知率の向上を実現している。

## トートワイヤ・フェンスシステム： 切断、破壊、曲げを防止

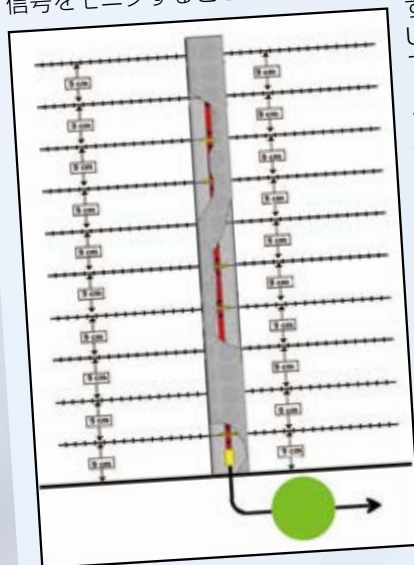
GPS トートワイヤ・フェンスシステムは、約 2.5 ~ 3m 離して設置した支柱と、支柱間に 10 ~ 15 cm の間隔で平行に張った任意数の有刺鉄線で構成する。このシステムでは、特殊な性質を備えたセンサ支柱が、有刺鉄線の切断や破壊や曲げなど、境界を突破しようとする試みに敏感に反応する。

物理的な擾乱が発生すると、有刺鉄線が擾乱のエネルギーに比例した電気信号を発生する。検知した信号は振幅され、シグナル・プロセッサ・ユニットに送信、分析され、プレ警報信号と警報信号を生成する。これらの信号は、設置場所で独自に設定可能な閾値とパラメータに基づいて生成する。プロセッサごとに最大 8 本の TPS センサ支柱をモニタすることができ。

風や雨などの自然現象や、昼夜の温度差などの大幅な気温の変化により、平常時でも物理的な擾乱が発生するが、このシステムでは差分信号分析を使用して、そのような誤信号を排除することができる。

モジュール性が非常に高いシステムのため、非常に長い境界線を作成することができる。プロセッサ・ユニットは、Multiplex 2000 センサ管理システムと互換性のある一般的なデータ・バス・ケーブルで接続する。最大 64 個のプロセッサをバスに接続可能であり、Multiplex 2000 システムの中央制御ユニット (UCP) は、これらのプロセッサからの全出力信号をモニタすることができる。さらに長い境界線を作成するには、複数の UCP をネットワークで接続する。

このソリューションでは、保護区域の特性に応じて、IPS 赤外線バリアシステム、GPS プラス埋設型検知システム、DPS ダブル技術埋設型システム、CPS マイクロフォニック・ケーブルなど、各種センサを組み合わせた境界システムを構築することができる。



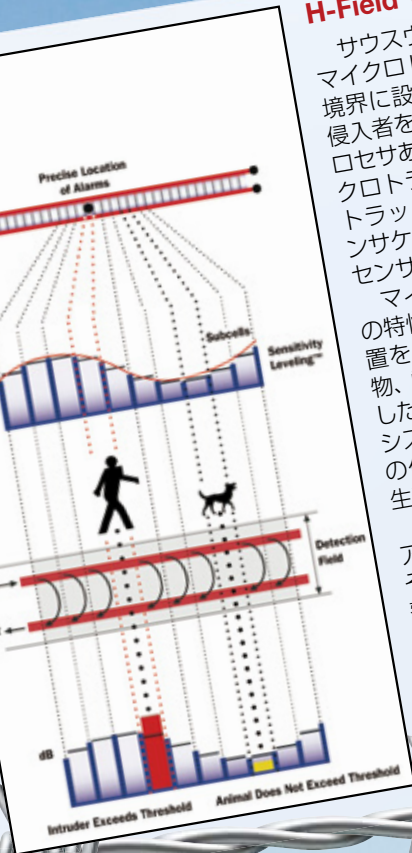


## H-Field センサ：環境要因に対する強力な耐性

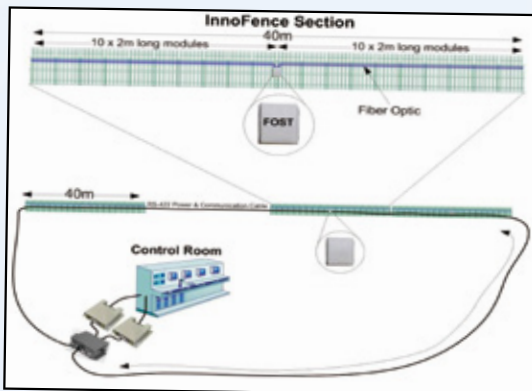
サウスウェスト・マイクロウェーブ社の INTREPID マイクロトラックは、容積測定式の地形追従センサで、境界に設置して歩行中や走行中、ほふく前進中の侵入者を正確に突き止めることができる。1 ブロックあたり 400m の範囲をカバーするマイクロトラック・システムは、1 台のマイクロトラック・プロセッサ・ユニットと、施設のセクタケーブル対に沿って埋設可能な 200m のセンサケーブル 2 対で構成する。

マイクロトラックは、侵入者の位置と時刻の特性を使用して、境界で擾乱が発生した位置をピンポイントで特定するため、虫や動物、雪や雨や風などの環境要因により発生した擾乱を無視することができる。また、システムの信号ノイズ比が高く、対象物の位置精度が高いため、誤認警報の発生率を最小限に抑えることができる。

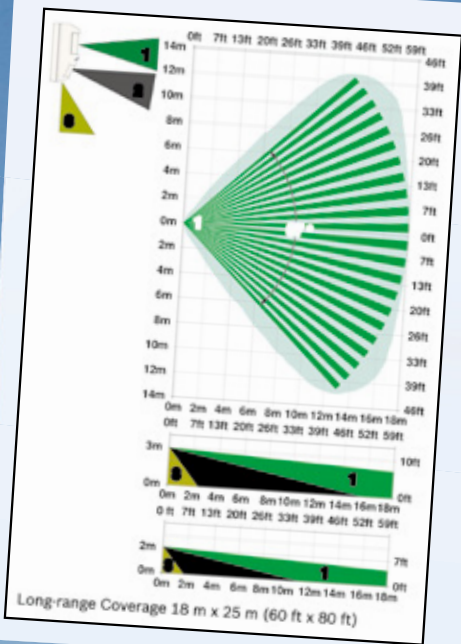
マイクロトラックでは、ソフトウェアを使用して検知ゾーンを設定する。そのため、設置場所の要求に合った費用対効果の高い区域設定が可能である。さらに、内蔵通信システムを使用して INTREPID セットアップ、モニタリング・ソフトウェアとの対話を行うため、ユーザー・フレンドリな導入とシステム管理そして診断が可能だ。



## 光ファイバ・ケーブル用探知システム：切断、登攀、持ち上げの防止



フェンス取り付け型の境界セキュリティ・アプリケーションで、光ファイバ・センサ・ケーブルをわずかに曲げた時に発生する信号を利用して、特有の侵入痕跡を、強力なデジタル信号プロセッサで分析する。このシステムはフェンスの切断、登攀、持ち上げにも反応する。プログラム可能なマイクロプロセッサを搭載しており、プラグイン式の設定モジュールを使用して、区域別に動作パラメータを設定することができる。切断と登攀の検知にはそれぞれ専用のパラメータを設定し、個別の警報処理が可能のため、検知を最適化し、誤認警報の発生を最小限に抑えることができる。システム独自の信号処理機能として、環境補正機能と平常時の擾乱の排除機能を備え、調整可能なファームウェアを用意しており、自然現象や環境事象による擾乱に反応した誤認警報の発生を防止することができる。



## 2枚のフレネル・レンズを搭載した動体検知器

(p.2 of 9.Bosch Blue Line Gen2: I165-24-9.pdf)  
 ボッシュ・ブルー・ライン・ゲン2 PIR 動体検知器は、

視界全体にわたる焦点の合った鮮明な画像を生成する 2 枚のフレネル・レンズを使用して、優れた侵入対策を実現する。この 2 枚のレンズにより、高密度な 7 層パターンを生成する。また、選択可能なルックダウン・レンズを使用して、3つの俯瞰ゾーンを追加することができる。侵入したのが人間ならば警報信号を生成し、ペットの場合は警報信号を生成しない、ペットフレンドリなモデルも用意している。機能の詳細は以下の通り。

### FSP (First Step Processing)

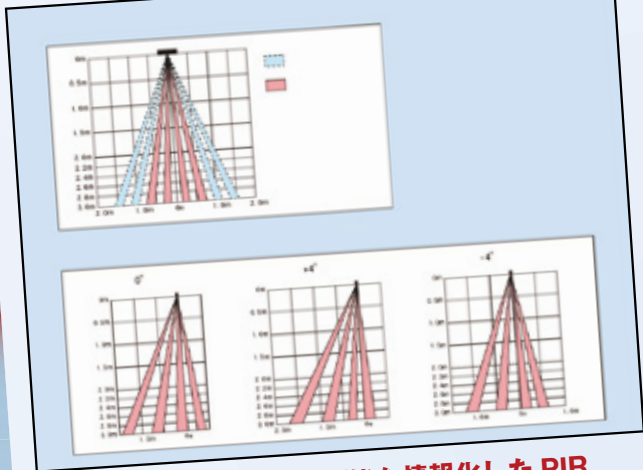
人間に対してほぼ瞬時に反応し、人間以外の場合には警報を発生しない FSP 機能を搭載している。この機能の搭載により、信号の振幅や極性、勾配やタイミングに基づいて検知器の感度を調整することができるため、設置者は感度レベルを選択する必要がなく、容易な設置と信頼性の向上を実現する。

### 選択可能なペットフレンドリ機能 (-WP モデルのみ)

必要に応じてペット対応機能をオンまたはオフに設定することができる。ペット対応機能をオフにすると、ペット対応機能非搭載モデルと同等の優れた検知性能を発揮する。ペット対応機能をオンにすると、人間に起因する信号とペットに起因する信号を区別できるようになる。体重 20 kg までのペット 1 匹か 2 匹、または多数の齧歯(げっし)動物に起因する信号を無視する。

### フレキシブルな温度補正

実質的にどのような気温でも人間の侵入を識別できるように、情報処理して感度



## 2.6 パラメータの調整が可能な情報化した PIR

(P2 of 2.Optex Intelligent PIR: I165-24-2\_Optex)

次に紹介するのは、パラメータの調整が可能な PIR 検知システムである。検知区域を、窓の幅と高さに一致するように調整することができる。このシステムは、オプテック社が開発した侵入警報装置 AB-20NW intelligent PIR をベースに構築する。

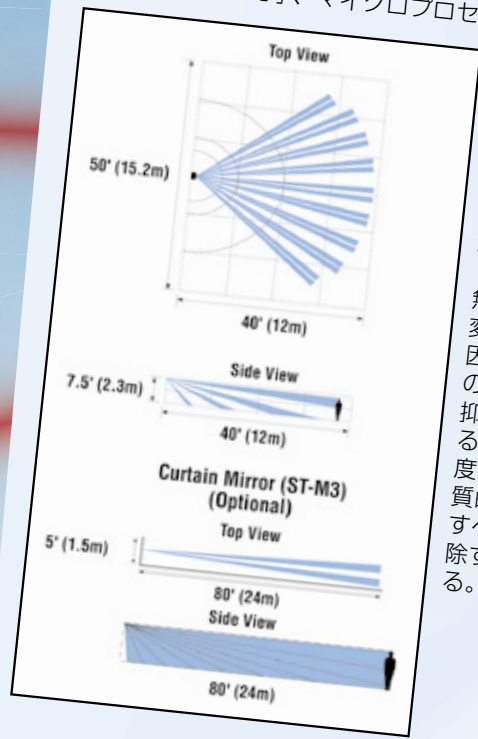
ある種の環境要因や自然現象が侵入行為として誤認されることが多いが、同社は独自の検知技術を使用して、この問題の解決を試みている。「誤認警報につながる要因を発見し、できるだけ取り除くことが重要だ。屋外の環境は、日々変化している。誰も気がつかないような何か誤認警報の原因になることがある。もっとも顕著な例は、植物の成長だ」とオプテックス社のプロダクトリーダー肥後良介氏は語る。

このシステムの検知エリア設定と温度補正ロジックにより、不要なエリアを監視対象から外すとともに、気温や環境のゆるやかな変化が誤って侵入行為と認識されるのを防ぐことができる。

## 2.7 デジタル温度補正機能を備えた PIR

(P2 of 3.Tyco Strata PIR: I165-24-3\_Tyco.pdf)

Tyco が開発した Strata PIR 動体検知器も、デジタル温度補正を PIR 技術に適切に応用した好例である。この検知器では、ミラー光学、マイクロプロセッサ制御、反射鏡の追



加によって、相当量の赤外線エネルギーをセンサーに集約し、検知性能を向上させている。さらに、特許取得済みのマルチレベル信号処理により、換気口や虫、無線周波数や温度変化などの環境要因による誤認警報の発生を最小限に抑えることができる。感度調整と温度補正により、実質的に、こうしたすべての要因を排除することができる。

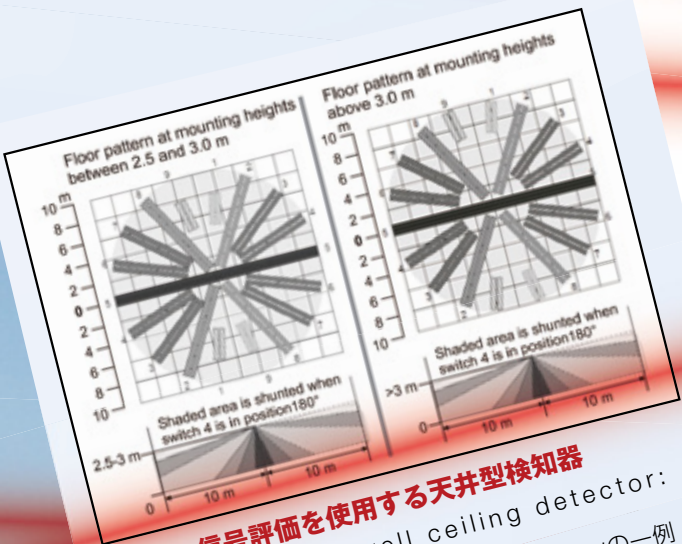
を調整する。

### 自動ロック式の筐体

スライド式自動ロック筐体には、気泡水準器を組み込み、ギャップのない独自の引き上げゲート型ターミナルブロックを搭載しているため、設置作業が容易となる。

### 密閉された光学部品と電子部品

前部筐体に組み込まれた光学部品と電子部品は、設置作業中の損傷防止のため、保護カバーで密閉している。また、隙間風や虫による検知器への悪影響を防止するため、光学部品チャンバを密閉している。



### 2.8 4D 信号評価を使用する天井型検知器

(p2 of 4. Honeywell ceiling detector: I165-24-4\_honeywell.pdf)  
PIR のマイナーだが重要なアプリケーションの一例が、ハネウェル社の天井型検知器である。この検知器は、ステップ、グライディング・フォーカス・ミラー技術を使用して 18 の検知カーテンと直径 20m の検知ゾーンを使用して、直接的な侵入だけでなく、床を這う物体も検知することができる。過酷な環境条件に対処し、誤認を減らす目的で、ミラー・オプションと 4D 信号評価を採用している。4D 信号評価の採用により、侵入した物体と誤信号との区別が可能である。4D 信号評価機能と 2 カーテン信号評価機能を搭載した同社の DD600 シリーズは、セキュリティ・アプリケーションとして知られている。DD600 シリーズの多様な信号に対応するソリューションは、5.8 GHz 周波数帯域でのカバレッジ制御機能を備えたレーザ技術を採用しているため、検知範囲外の物体の動きが原因である誤認警報の発生を回避することができる。

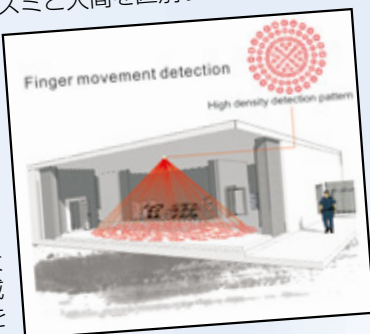


### 3.1 PIR マイクロ波検知器： 侵入者の動きと大きさを3Dで明確化

(P.1 of 7.A&R PIR Microwave Detectors: I165-24-7\_a&R.pdf)

赤外線技術については、まず A&R テクノロジー社が特許を取得したマイクロ・ムーブメント、デュアル周波数赤外線技術を紹介する。このオールインワン・タイプの天井型検知器は、4つの要素で構成する赤外線検知器とデジタル信号処理を組み合わせ、12～16の倍率で信頼性の高い検知を実現する。マイクロ・ムーブメント技術により、456の赤外線レンズが、計8つの領域に赤外線を投影する。侵入物体により遮られた赤外線信号の数に基づいて、物体の高さと幅と長さを取得し、侵入物体を正確に表現できる。従って、このシステムでは虫やネズミと人間を区別することができる。誤認警報の発生率が低下し、検知の信頼性が向上する。

デュアル周波数赤外線技術を応用した機器のため、赤外線とマイクロ波をシステムに統合している。赤外線を使用して、侵入者の大きさに基づいて、脅威になる侵入かどうかを判断すると同時に、マイクロ波を応用して、物体が十分な動きを示した時点で侵入者と確定し、警報を生成することができる。

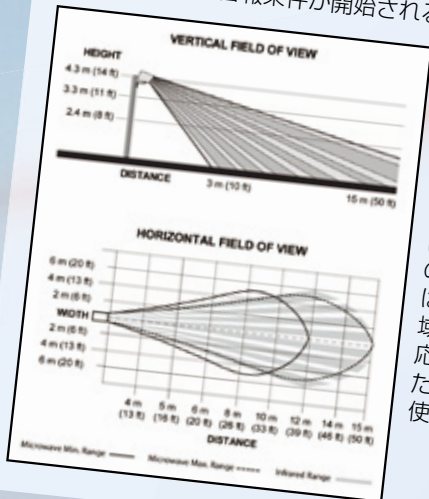


### 3.3 ドップラーマイクロ波と PIR の組み合わせ： ほふく前進はもう無意味

P2. Of 6.Southwest MS15&MS16: I165-24-6.pdf

サウスウェスト・マイクロウェーブ社が開発したシグネチャ技術は、マイクロ波レーダ検知器の好例である。ドップラー・マイクロ波と受動型赤外線技術を組み合わせた MS15、MS16 屋外用デュアル技術動体センサは、15m×12mの検知パターンを生成し、直立/歩行中、走行中、ほふく前進中の対象物を検知することができる(ほふく前進中の対象物に対応する拡張検知機能は、MS16のみ搭載)。動作に設定すると、マイクロ波と PIR が相互に補充し合うように動作する。受動型赤外線部分は侵入者が発する放射エネルギーを検知し、マイクロ波部分は侵入者の動きを検知する。両方の技術が同時に作動すると、警報条件が開始される。

この2つの要素から構成される赤外線検知器は2つのマイクロ波受信チャンネルを備え、誤認警報の低減と除去という点では、通常温度変化を監視しながら、侵入者により生じる急激な赤外線の変化に反応することができる。この技術で最も注目されるのは、特定の資産や戦略的な区域を保護する能力で、現場対応機能や映像検証機能を備えた専用システムの一部として使用するのが望ましい。



### 自動利得制御 (AGC) による、 照明に応じた感度の調整

(5.Atumi AIR: I165-24-5.png)

アツミ電気が開発した AIR(Active Infrared Detector) は、鋭いビーム光線を生成する球状のフレネル・レンズを搭載し、屋内で 180m 屋外で 90m の範囲にデュアルビームを放射する。この技術は、雪や雨や埃などの環境要因への耐性だけでなく、無線周波数干渉に対する耐性が強い。自動利得制御 (AGC) の導入により、照明に合わせて感度を調整することができる。さらに、AGC によりビームパワーが 99% 失われた場合でも、安定した動作を維持する。また、ビーム中断時間の調整が可能のため、動物や落ち葉などの無害な飛行物体を無視することができ、誤認警報の発生を減らすことができる。



### 薄暗い環境でも高い感度を実現する 4 ビーム AIR

(13. Aleph: I165-24-13.1.pdf)

アレフ社の AIR 侵入検知器は、霧や雨や小虫に起因する誤認警報の発生を防止して開発した。この検知器の情報化機能により、薄暗い環境に適応し、光が全くない場合にも感度を維持することができる。特殊設計の外装ケースで保護しているため、湿度や氷結の問題も回避できる。完全な適応力を備え、高く評価されている検知器である。



### 3.4 360 度にわたって保護が可能な 光電子ビーム検知器

(P1 of 12.Bunker PT Tower: I165-24-12.Bunker.pdf)

バンカ・セキュリティ社の革新的な PT タワー光電子ビームは、破壊行為への抵抗力に優れた、堅牢で目立たない筐体を採用している。押し出し成型による黒の陽極酸化アルミニウムと、耐久性の高い強靱なポリカーボネートの紫外線処理済みカバーで構成するこのタワーは、360 度にわたる保護が可能であり、任意の高さで連続ビームを発生させることができる。

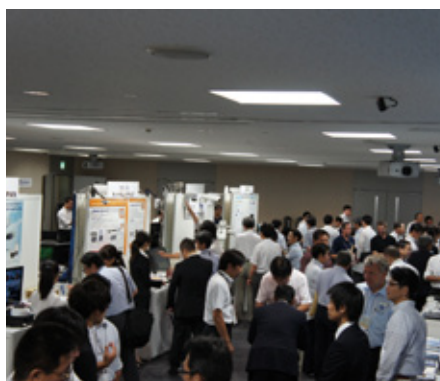
現代的なデザインは、市販されている光電子ビーム製品の大部分に適応し、最大 250m の範囲で単一または複数のビームを発生させることができる。1m、1.5m、2m、3m のタワーを用意しているため、ほとんどの状況に対応することができる。





# GDSF JAPAN2012

## 世界デジタル監視フォーラムジャパン



GDSF JAPAN2012は、2012年9月14日に東京秋葉原UDXカンファレンスで開催された。AおよびBトラック17セッションのセミナーと19社の出展ブースで、デジタル映像に高い関心を持つ264名の来場者が、積極的に各社の製品やソリューションの情報を収集していた。

今回の特徴は、エッジデバイスとしてのHD/フルHD映像用カメラでは、最新のIPネットワークカメラはもちろん、近年脚光を浴びているHD-CCTVカメラにも多くの注目が集まった。録画ストレージでは超小型NVRやNAS、そしてハードディス

ク・ドライブに収録されたデータをDVDやブルーレイ・ディスクに保存する機器などと幅広い製品が展示されていた。そして、IPネットワーク・システムに欠かせない映像管理ソフトウェア(VMS)の世界的なブランド企業と日本やアジア発のVMS企業が、その卓越したインテリジェント機能を大々的にデモンストレーションを展開していた。

その他にも、IPカメラに搭載のSDカードにVMSやCMSをプレインストールすることで、低コストで高いパフォーマンスが得られるソリューションに多くの関心が集まった。

## 1 DIAMOND SPONSOR



フリアーシステムズジャパン

ブランド名	FLIR Systems	
	〒141-0021	
住所	東京都品川区上大崎 2-13-17 目黒東急ビル 5 階	
TEL	03-6721-6648	FAX 03-6721-7946
URL	www.flir.com	



当社は、セキュリティ向け監視用赤外線カメラを世界市場に提供している。事業は国防事業と民間事業の2つで構成している。民間事業部門の製品ラインナップには、陸上・海上国境警備向け長距離用監視カメラ、長中距離用監視カメラ、船舶・ボート向け長短距離用監視カメラ、ハンディタイプ監視カメラ がある。

セキュリティカメラでは、アナログビデオ&ネットワーク出力のD /F/PTシリーズが主力製品である。

世界市場で展開する上で欠かせない接続環境では、ジェネテック社やマイルストーン社など主要サードパーティと連携している。

赤外線を捉える構成要件は、温度(熱)と放射率(物質固有値)と角度(放射率の変動)の3つである。一方、赤外線カメラが対応できないことは、ガラス(透明アクリル)越し、物の中の透視、そして水中である。そのため、赤外線カメラが最も威力を発揮するのは、暗闇やコントラスト差、スモークなどの悪環境である。

アプリケーション・事例は、沿岸や河川、ダムや山岳、空港や港湾、発電所や工場といった定置、そして安全航行用として船舶搭載などと、幅広い分野で導入されている。

## 3 DIAMOND SPONSOR



Bosch Security Systems

ブランド名	Bosch	
	〒141-0031	
住所	東京都品川区西五反田 3-6-21 住友不動産西五反田ビル 2 階	
TEL	03-5759-4169	FAX 03-5759-4174
URL	www.jp.boschsecurity.com	



当社は、広範囲なソリューションや製品をオープンに提供している。さらにDinionシリーズを始めとするHDカメラ、映像管理ソフトウェア(VMS)であるVideo Recording Manager2.22、DLAシリーズなどのVMS内蔵SCSIストレージボックスの発売を予定している。

当社はまた、HD画像をどこでも活用できるソリューションHD anywhereを提唱している。その背景にあるのは、安定した通信速度のコスト問題や閉じられたLAN環境での利用であり、その結果講習IP網では帯域が保証されないことや、ネットワークシステムの遅延や不安定さによるデータ未到着や不十分な映像などの課題である。

当社では、これらに対応するトランスコーダの発売やIOS対応アプリケーションのBVIP App 2.0のリリースを予定している。これにより、モバイルや狭い帯域さらにブロードバンドなどの環境で、どこでもいつでもHD画像を利用できるようになる。

日本においても、当社製品の導入事例が増加しており、当社ソリューションの確かさを立証している。

## 2 DIAMOND SPONSOR



アクシスコミュニケーションズ

ブランド名	Axis	
	〒160-0022	
住所	東京都新宿区新宿 2-5-12 FORECAST 新宿 AVENUE4 階	
TEL	03-5312-5230	FAX 03-5312-5229
URL	www.axiscom.co.jp	



当社は、世界の監視カメラ市場およびネットワーク市場で最大シェアを有する企業である。それは、R&Dの強化、独自テクノロジー、先進テクノロジーの導入などの変革を継続していることで達成している。また、業界随一の120機種を超える豊富な製品群を提供していることで、様々なソリューションへの対応を可能にしている。近年は、M50PTZやM11、M31-VEやM30-Vなど、コンパクトで目立たない製品を続々と発表している。

また、日本国内では有力パートナー企業との連携で、数多くの導入実績を誇っている。例えば、高速道路管理や小売業でのソリューション導入などがある。これらの実績の背景には、前述の技術革新の存在がある。すばやくできる柔軟性の高いインストール、過酷な屋外環境に耐える設計、高信頼性の各種パーツとアクセサリの供給などである。

そして、光感度の改善や極めて低照度で威力を発揮するLightFindes技術、実用性を優先した先進のワイド・ダイナミック・レンジなどを搭載したカメラが、他社では対応できないソリューションの提供を実現している。

## 4 PLATINUM SPONSOR



MOBOTIX JAPAN

ブランド名	MOBOTIX	
	〒231-0011	
住所	神奈川県横浜市中区太田町 6-85 RK Cube 4 階	
TEL	045-227-6285	FAX 045-227-6286
URL	www.mobotix-japan.net	



MOBOTIXネットワークカメラシステムには、他社製品とシステムと差別化できるいくつもの特徴がある。

特徴1として、摂氏マイナス30度から60度までの屋外対応温度をハウジングなしで可能にしていることが挙げられる。特徴2として、カメラ内に様々なアラーム機能と発報機能があることである。特徴3として、3メガピクセル(300万画素)の映像を提供できることである。特徴4として、カメラ録画システムの違いがある。MOBOTIXのカメラはカメラ本体に録画ソフトウェアであるMxControlCenterを内蔵しているため、DVRやNVRを必要としない。画像保存用にNASやファイルサーバを用意すれば済む。また、カメラ内部64MB RAMをバッファに利用しているため、ネットワーク障害時でも映像保存ができる。

MOBOTIXを象徴するカメラの一つが、ヘミスフェリック(半球)技術を搭載する360度全方位カメラQ24である。Q24は、上述のMxControl Centerだけでなく、画像解析ソフトウェアによる人数カウント機能を搭載する。

また年内に新製品S14を供給する予定である。

## 8 PLATINUM SPONSOR

# SONY

ソニービジネスソリューション

ブランド名	ソニー	
〒	108-0075	
住所	東京都港区港南 1-7-1	
TEL	0120-788-333	FAX 0120-333-389
URL	www.sony.jp/snc/	



直近のネットワークカメラ市場について、当社出荷状況から市場動向を次のように予測している。まず、当初予測を上回るペースでIP化が進んでいる。2012～2013年は大幅市場成長の可能性もある。次に、フルHD需要が増加している。特に公共・文教市場におけるフルHD・PTZタイプの需要増が著しい。また、金融機関における高解像度需要が増加している。ナンバープレート認識等での利用も伸長している。さらに、アナログからIPへの置き換えが本格化している。背景には、低価格・単焦点モデルの販売増があり、市場の裾野が拡大している可能性がある。そして、カメラサーバ(エンコーダ)需要が急増している。既存アナログカメラのIPシステムへの統合が重要課題である。

画期的な新製品IPELA HYBRIDは、業界初となるHDの高画質とアナログカメラのリアルタイム性を両立したセキュリティ用ハイブリッドカメラを発売した。これにより、アナログシステムからの移行コストとダウンタイムの削減や、アナログシステムからの段階的移行を可能にした。

これとは別に第6世代ネットワークカメラ発表も用意している。

## 7 GOLD SPONSOR

# ROD

Respect on Demand

R.O.D

ブランド名	VioStor	
〒	108-0014	
住所	東京都港区芝 5-32-8 青木ビル 8階	
TEL	03-5419-3354	FAX 03-5419-3359
URL	www.rodweb.co.jp	

国内ネットワークカメラ市場は直近の数年間で20～25%の成長を続けている。これに伴い、NVR市場も成長を続けている。

VioStorは、2004年発売以来2011年までに累計1万台以上の販売実績を記録している。VioStorが評価を得ているのは下記の特徴からである。カメラについては世界の主要ベンダの多くに対応し、PCレスモニタリングを可能にし、簡単操作で使いやすさを追求し、最大120台を一括管理が可能で、スマートフォン・ソリューションに対応している。

## 12 GOLD SPONSOR

# IEI

IEI Technology Corp.

ブランド名	IEI	
〒	221	
住所	No. 29, ZhongXing Rd, Xizhi Dist., New Taipei City 221, Taiwan	
TEL	+886-2-8691-6798	FAX +886-2-6616-0028
URL	www.ieiworld.com	

当社は、革新的なビデオ・キャプチャの応用を様々な市場に提供している。医療用HDでは超音波スキャナや内視鏡、顕微鏡やサーモグラフィ。ネットワーク映像放送用HDでは通信教育や指導、スポーツなどの競技放送、交通放送。ストリーミング用HDでは表示/履歴記録システムなどである。製品では、HDCシリーズのボード、人体装着HD機器であるIEI BODY WORN、HDCSシステム、HD-SDIフルHD1080p60キャプチャ、IVCSシステムキット、IVCキャプチャ・ソリューションなどがある。



## 6 GOLD SPONSOR



ネットカムシステムズ

ブランド名	KxViewPro		
	〒101-0021		
住所	東京都千代田区外神田 3-10-3 プライム秋葉原ビル 7階		
TEL	03-5207-8591	FAX	03-5207-8592
URL	www.netcam.co.jp		



KxViewPro2.1は多くの点で改良が加わり、

1. ネットワークカメラ最大64台同時録画が可能。
  2. コンパクト化したリモコン画面で直感的に操作。
  3. カメラ登録、録画設定が簡単にできる。
  4. ボタン1つで全カメラの録画を開始/停止。
  5. 多拠点複数カメラの監視に威力を発揮。
  6. 複数モニタで使いやすく、コスト削減。
  7. カメラの分割画面表示を自動的に切り替え。
  8. PTZを制御する別ウィンドウを設置。
  9. 録画再生も簡単操作で使いやすく。
  10. 障害発生警告機能
  11. 予備ドライブ登録で、ディスクエラー時も録画を止めない。
  12. ミカミ製 フルHD屋外PTZカメラ(IP)に対応
  13. パナソニックとAXIS製カメラ付属機能の利用が可能
- その他、カメラ中継アプリケーションNetCamGate、車両ナンバー認識アプリのナンバーアイ、バーチャルセンサーNetCam VS 等を紹介した。

## 13 GOLD SPONSOR

**FE 富士電機**  
Innovating Energy Technology

**PELCO**  
by Schneider Electric

富士電機機器制御

ブランド名	PELCO		
	〒103-0011		
住所	東京都中央区日本橋大伝馬 5-7 三井住友銀行人形町ビル		
TEL	03-5847-8060	FAX	03-6847-8182
URL	www.fujielectric.co.jp/fcs		

IPカメラのラインナップとして、ハイパフォーマンス (SureVision)、低照度対応カメラ、コンパクトドームカメラ(屋内・屋外・耐衝撃性タイプ)を用意している。その他にヘビーデューティ・カメラもある。また、DXシリーズとDigital SentryそしてEnduraなどのビデオ管理システムと画像解析なども取りそろえている。特に録画装置のNSM5200は、記録装置の構成に特徴があり、ハードウェアの信頼性に高い評価を得ている。また、モバイルモニタリングにも対応している。

## 17 GOLD SPONSOR



VIVOTEK

ブランド名	VIVOTEK		
住所	6F, No.192, Lien-Cheng Rd., Chung-Ho, New Taipei City, Taiwan		
TEL	+886 2 8245-5282	FAX	+886 2 8245-5532
URL	www.vivotek.com		

当社は、ネットワークカメラやビデオサーバ、NVRやビデオ管理ソフトウェアを提供している。これらの製品を支えているのが独自の高い技術力で、光学技術と自社開発チップそしてネットワークプロトコルで実績を有している。

また、ソリューション・パートナーとしては世界市場で活躍している有力企業と連携関係を持ち、この強力なパートナーシップに基づいて、海外各国での金融や交通、台湾国内の官公庁などで、数多くの導入事例を誇っている。

## 9 GOLD SPONSOR



店舗プランニング

ブランド名	CNB / WEBGATE	
	〒151-0061	
住所	東京都渋谷区初台 1-46-3 シモモトビル 2 階	
TEL	03-3378-4901	FAX 03-3378-4906
URL	www.tenpo.co.jp	

世界的企業であるWEBGATE社が提供する新世代ハイビジョン・カメラシステムHD-CCTVは、高画質と720pや1080pの高解像度そしてプログレッシブスキャンなど、アナログシステムにはない特徴を持つ。IPシステムと比べ、プラグアンドプレイ、HDのリアルモニタリングでの非圧縮、非遅延などの特徴がある。

さらに、同軸ケーブルを使用することで、各種コンバータを利用した既存カメラ等との混成や、ネットワークの影響を受けない伝送や録画が可能である。

## 11 GOLD SPONSOR



DYNACOLOR JAPAN

ブランド名	DYNACOLOR	
	〒102-0093	
住所	東京都千代田区平河町 1-1-1 平河町コート 202	
TEL	03-3265-0037	FAX 03-3265-0038
URL	www.dynacolor.co.jp	

新製品の開発コンセプトは、ライブも録画もフルHDで実現することである。そのため、2つのソリューションを用意している。1つはSDIソリューションで、遅延やコマ落ちの内高解像度ライブ映像を提供する。既存のBNCケーブルを活用し、見慣れたインターフェースを採用している。もう1つはIPソリューションで、特に16ポートPoEハブを内蔵し、デュアルストリーミング対応とプラグ&プレイで簡単設置が可能DG900や、Pアイリスや垂直画像モードの採用の各種カメラなどを取りそろえている。

## 14 GOLD SPONSOR



The Open Platform Company

マイルストーン・システムズ

ブランド名	milestone	
	〒150-0003	
住所	東京都渋谷区猿樂町 29-6 デンマーク大使館内	
TEL	03-3780-8749	FAX 03-3476-4234
URL	www.milestone.com	

世界的なVMSブランドXProtectは、強力なパートナー企業と連携して市場に供給している。XProtectには、XProtect Go/Essential/Express/Professional/Enterprise/Corporate版と6つのエディションがあり、用途に応じて使い分けができる。いずれのエディションもWindows 機器で閲覧することができる。

さらに、ソフトウェア・アップグレード計画やXProtect® スマート・クライアント、XProtect® スマート・ウォールやXProtect® モバイルなどを用意して、様々な使い方に対応している。

## 10 GOLD SPONSOR



キヤノンマーケティングジャパン株式会社

キヤノンマーケティングジャパン

ブランド名	Canon	
	〒108-8011	
住所	東京都港区港南 2-16-6	
TEL	050-5559-0074	
URL	canon.jp/webview	

PTZモデルVB-H41：フルHD出力、20倍ズームレンズ搭載、最低被写体照度：カラー0.4ルクス、白黒0.02ルクス。固定モデルVB-H610D/VB-610VE/VB-H710F：フルHD出力、広角レンズ(ワイド端112°)搭載、被写体照度：カラー0.3ルクス、白黒0.015ルクス、IP66/衝撃対応(VB-610VE)。全モデルに6種類(動物/持ち去り/置き去り/いたずら/通過/音量)の検知機能搭載し、ONVIFプロファイルS対応、映像エンジンDIGIC DV III搭載。

素早いAFとデジタルズーム時野画像劣化を抑えたレンズ搭載。

## 5 GOLD SPONSOR



ジャバテル

ブランド名	Security Center	
	〒530-0041	
住所	大阪市北区天神橋 2-北 1-21 八千代ビル東館 3階	
TEL	06-6354-0100	FAX 06-6136-1155
URL	www.javatel.co.jp	

次世代VMSではエッジストレージ対応を、アクシス社のコンパニオンを例に挙げて説明した。次にGENETEC社のビデオ・トリッキングを紹介した。これは、時間範囲やイベント、警報器やブックマークされた映像、ユニットがオフラインになっている区間などの要求に従って、バッチ転送することで、確実に必要な映像記録ができる。

さらに今後のクラウドの普及について、エッジストレージと上記ビデオ・トリッキングの普及が本格化する絶対条件とした。

## 15 GOLD SPONSOR



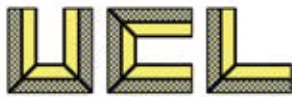
エスエスユニット

ブランド名	MESSOA / GVD	
	〒231-0041	
住所	神奈川県横浜市中区吉田町 72 サンリュートビル 8階	
TEL	045-250-0680	FAX 045-250-0681
URL	www.ss-unit.co.jp	

MESSOA社のネットワークカメラは、2Mピクセル、フルHDの高品質画像、豊富な検出機能、独自開発のLumii II センサ、ONVIF対応、スマートフォーカス機能などを搭載している。

GVDはNVRとワークステーションの2タイプで、マルチベンダ対応、ハードウェア診断通知機能、HDD修復機能、多彩な分割表示パターン、繰り返し再生の簡単設定、動機再生/非同期再生の自在な表示、指定した画像を瞬時に送信するアラーム処理、持ち去り/置き去り検索などの機能を搭載している。

## 16 GOLD SPONSOR



ユニバーサルコンピュータ研究所

ブランド名	メディアライター	
	〒542-0086	
住所	大阪市中央区西心斎橋 1-9-16 大京心斎橋第2ビル 5階	
TEL	06-6251-7685	FAX 06-6251-7686
URL	www.ucl.co.jp	

メディアライターは、監視カメラ録画データ保管システムで、録画装置から映像データを自動的に取り出し、全自動でCD/DVD/BDメディアに最大100枚保管することができる。メディアライターはエプソン製ディスクデュプリケーターにインストールして使用する。パナソニック、BOSCH、NUUO、VioStorなどのNVRIに対応している。メディアライターの製品ラインナップはカメラ16台用から256台用まで取り揃え、オプションも各種用意して、様々なソリューションに対応ができる。

## 19 SILVER SPONSOR



サンシステムサプライ

ブランド名	exacq Vision	
	〒167-0021	
住所	東京都杉並区井草 3-32-2	
TEL	03-3397-5241	FAX 03-3399-2245
URL	www.sunss.co.jp	

## 18 SILVER SPONSOR



ネクスコム・ジャパン

ブランド名	NEXCOM	
	〒108-0014	
住所	東京都港区芝 4-11-5 田町ハラビル 9階	
TEL	03-5419-7830	FAX 03-5419-7832
URL	www.nexcom-jp.com	

# よくわかるIPネットワーク

株式会社ジャパテル 代表取締役CEO 佐々木宏

このシリーズでは、主にネットワーク環境に関しての解説を中心にIPネットワークカメラの特性に踏み込んで連載してきた。今回はクラウドをテーマにあれこれと書き殴りたい。

## 【VsaaS】

VsaaSはVideo Surveillance as a Serviceの略語で、マネージド/ホステッド・ビデオ、ビデオ監視における最もホットなトレンドの一つである。このアプローチの主な利点は、それが簡単にビデオ監視を展開し、アクセスできるようにすることである。管理およびホストされたビデオを使用するには、家庭や小規模ビジネスの市場セグメントのためのシンプルなアプリケーションで開始されている。

このように立派な能書きはできるのだが、では、どの製品でサポートするのか？ こう問われると回答に詰まってしまう。

ipカメラのプロトコルは、自身から接続を求めるプロトコルにはなっていない。そのため、ルータのNATを容易にパスできないのである。私たちが普段利用しているPCやスマートフォンは、そのデバイス自身が接続先のドメインを求めて接続に行き、このドメインのネーム解決もUDPだが、問題なくNATを通過する。

さらに、セキュリティに関して言えば、ビデオストリーム自体は暗号化されていない。私たちがクレジット決済をする時のhttps通信は、通常のブラウザでの通信httpをSSLで暗号化している。し

かし、ビデオストリームをhttpsで処理することは理論的には可能でも、実際にはオーバーヘッドや帯域幅などから現実的ではない。

アクシス社のホステッドサービスとしてAVHSが発表されているが、これは同社独自の仕様のトンネル・プロトコルによりビデオストリームを保護している。

VsaaSはあくまでも簡易的で、中間業者に頼らないシンプルなビジネスモデルとして華々しく発表されたが、今一つ盛り上がりには欠けると言える。この中間業者に頼らないビジネスモデルとしては、誰もが知っているFacebookやTwitterまたMixiなどがある。Twitterの代理店など存在しないのである。

自分で発信を制御してサービスを利用するのではなく、ビデオが単に勝手に映っている映像を送信するが、これに対する心理的抵抗線は簡単には下がらないだろう。

やはり、現実的なクラウドとしてのVsaaSは、VPNを経由したアーカイブ・サービスとライブ・ローカル・モニタリングがもっとも現実的である。ホステッドなサービスはグローバルにアクセス可能なライブやアーカイブ再生であり、最近では当然スマートフォン対応も要求されている。

## 【帯域幅の対応策】

絶対に避けて通れない帯域幅の問題を解決しないことには、クラウドは絵に描いた餅でしかない。ベストエフォート回線での100%確実なリアルタイムビデオ

伝送は有り得ない。ごく稀であっても、ライブビデオは欠落するものである。これをアーカイブ(録画)しても、欠落部分が発生してしまう。これを解決するための回答がエッジ録画である。

最新のipカメラではSDHC規格のSSDメモリをサポートしている。このSSDに記録された映像を転送するなら、リアルタイムの必要性がないのでTCPプロトコルにより、確実に転送記録が可能となる。

## 【ビデオ・トリックリング】

当社が取り扱っているジェネテック社製VMS(映像監視ソフトウェア)OMNICASTは、このエッジを高度にサポートしている。一例を挙げて説明すると、VPN経由でカメラ映像を常時録画しているとしよう。このVPNネットワークでは、何らか理由による帯域幅減少で、いつも数台のカメラ映像が数秒間から数10秒間欠落する。しかし、OMNICASTは、この欠落したビデオをエッジデバイスであるカメラから取り出し、確実にビデオを記録する。

この技術をGENETEC社ではビデオ・トリックリング(Video trickling: 滴るビデオ)と呼んでいる。ビデオ・トリックリングの画期的な能力はビデオ・クラウドの肝と言える。転送は、イベントやスケジュールなど様々なフィルタを通して確実にアーカイブされる。

この仕組みは、交通機関のセキュリティでも大変有用となる。バスや電車内の録画映像をライブで配信する通信網の確保は、ほとんど不可能である。そこで、



エッジに記録された映像を、車両が運行終了し入庫した後にWi-Fiで自動的に吸い上げてアーカイブするのである。

もう一つ例を挙げると、深夜営業などのファストフードのチェーン店では、ほとんどの店舗が監視カメラを取り付けている。店舗内で何らかの問題が発生した時に、録画されている映像を法的機関に提出するために、店舗に出向きあれこれと探し出すのは大変な作業である。内引きの疑いがある調査でも同様に困難を極める。これは良くある話だが、再生しようと店舗に出向いていたら、故

障していたり録画されていなかったりなどの事態が発覚する。しかし、集約管理できるクラウドならこのようなリスクも手間も大幅に改善できる。

**【GSC mobile 3.1の新機能】**

当社の新しいサービスGSC mobile 3.1にモバイル・カメラが登場した。スマートフォンでカメラの映像を観ることは今や常識になっている。しかし、このスマートフォンが監視カメラとなり録画配信が可能だとしたら。リモートメンテナンスや、巡回警備で大きな役割をこなす。

今回は工事業者から聞いたHS-SDIとNVRに関する深刻な話を取り上げる。



貴方のセキュリティシステムのDNAは？



**自在に選べる、  
堅固な統合セキュリティシステム**

実績豊富なオムニキャスト・ビデオ監視システムを搭載したSecurity Centerから始めましょう。入退室管理、侵入検知、資産監視、ビル管理などのビジネスシステムが次の展開となります。すべてのシステムと設備でモニター、アラーム管理、レポートを統合します。進化する統合のかたちをご覧ください。

See what you need at [genetec.com/jp/SecurityCenter](http://genetec.com/jp/SecurityCenter)

ビデオ監視システム | 入退室管理システム | ナンバープレート認識システム

革新的ソリューション



# 手書き署名認証システムによる Android端末の利用者認証

## <Android端末と相性が良い利用者認証>

ウィッツェル株式会社 茶位利昭

### 1. はじめに

2007年にiPhoneが発売、翌年にはAndroidスマートフォンが多数出荷され、あっという間にスマートフォンが当たり前の世の中になった。従来から誰もがやりたかった、手軽に持ち運べて、どこにいてもネットにアクセスすることができる環境が簡単に手に入るのだから流行するのも当たり前だ。そして今は、小型パソコンを持ち歩いているのと同じぐらいの性能になり、クラウドサービスの利用が当たり前とは言え、データ漏洩等のセキュリティ問題が騒がれている。

そこで、スマートフォンのセキュリティソリューションとして、アンドロイドスマートフォンに搭載する、当社が開発中の手書き署名照合システム「Cyber-SIGN for Android」の試用結果を記す(図1は、同ソフトのアプリケーションアイコンである)。



図1 アプリケーション・アイコン

今回テストに使った端末は、サムスン

電子製のGALAXY Note(NTTドコモ SC-05D : Android OS 2.3)である。この端末は、専用のペンと指のどちらでも操作ができるという特徴がある。入力デバイスが電磁誘導方式と静電容量方式の両方式に対応しているのだが、署名する場合はペンを利用すると非常に筆記しやすく、また、同ソフトウェアは筆圧も感知するので、筆で描いたように太さが変わる線を書くことができる。

### 2. 動作概要

「Cyber-SIGN for Android」を立ち上げるとメインメニューが表示される(図2)。機能は表1の通りである。



図2 メインメニュー

メニュー	概要
1 <input checked="" type="checkbox"/> 起動時の認証に署名認証を使用する	端末起動時(電源をONした時)に、署名認証による利用者確認を行うが設定する。
2 署名登録	利用者確認を行うための署名を登録する。
3 認証テスト	登録した署名との認証テストを行うことができる。
4 設定	各種設定を行う設定メニューを表示する。
5 ライセンス登録	アプリケーションの利用ライセンスを登録する。
6 終了	アプリケーションを終了する。

表1 機能一覧

まずはじめに署名を登録する。署名登録メニューを選択すると、図3のような画面が表示されるので、指示に従って署名を3回入力する。署名を書き終わるのを見計らって次の画面に自動的に移動するのでスムーズに登録することができ



図3 署名入力画面

る。

署名の登録が終わったら、念のため、署名がきちんと登録されたかテストを行う。認証テストメニューを選択し、登録した署名を入力すると認証結果が表示される。もし、うまく認証されない場合は署名を再登録すれば良い。

これで最低限の準備は終わりである、後はメインメニューの上の方にある「 起動時の認証に署名認証を使用する」と

書いてあるチェックボックスにチェックを入れるだけである、そうすれば次に電源を入れた時から、署名認証を行わないと端末の利用ができなくなる。実際に一度電源を切ってから入れ直すと、図4のような画面が表示される。

また、設定メニューを選択して、パスワードを登録しておけば、万が一登録した署名を忘れてしまった場合でも、図5のようにパスワードを入力することにより、端末の利用が可能になる。

### 3. スクリーン・ロック

このソフトウェアは、電源ONした時に端末のスクリーン全体を覆う署名入力画面を表示し、署名認証が正しく行われないと端末の操作ができないようにロックするというものである。このスクリーン・ロック機能は、アンドロイドOSのウィンドウ・マネージャを駆使して作られており、ホームボタン等を押してもロック画面が解除されてしまうことはない。また緊急通話にも対応しており、画面右上の解除ボタンを押して、緊急電話番号を入力すれば緊急電話がかけられるとい

う仕組みも持っている。

また、アンドロイドの標準セキュリティ機能、例えば図6のようなパターン・ロック機能を利用していった場合に、署名認証を使うとどうなるのかと言うと、「 起動時の認証に署名認証を使用する」をチェックした場合には、電源ON時に署名入力画面が表示され、「 起動時の認証に署名認証を使用する」のチェックを外した場合には、パターン・ロック機能が利用されるという風に、ロックの方法が切り替わる仕組みになっている。

### 4. おわりに

紹介できなかった機能として、認証強度の設定や線の太さの設定、筆記時にインクを表示するかしないかの設定等もある。また、将来的には、データ漏洩を防ぐために、署名認証が失敗したら、端末のデータを全て消去してしまう機能などの追加も考えられている。

今回の署名認証は、バイオメトリクス個人認証(生体認証)に分類される本人確認方法である。一見パターン・ロックと似ているが、署名認証の方は、筆記のリズム(スピード)や、筆圧の違いも検知して認証を行うので、セキュリティの高さは全く別次元のものである。

アンドロイド端末はスマートフォンからタブレットまで、指やペンで操作できるという特徴があるため、署名認証システムとは非常に相性が良い。スマートフォンやタブレット端末の増加と共に今後ますます署名認証が使われていくであろう。

※本文中の機能、画面イメージは、実際の製品と異なる場合があります。



図4 起動時の署名入力画面



図5 パスワード入力画面

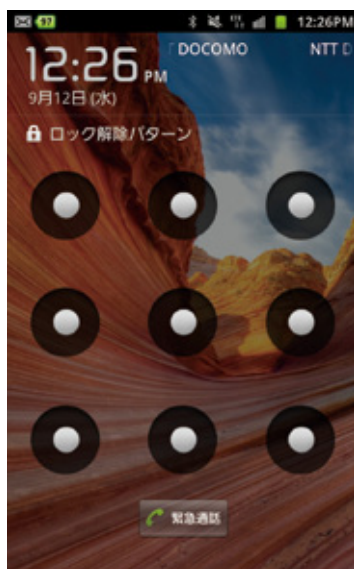


図6 パターン・ロック画面



# 世界最大の総合化学メーカーBASF、 外周警備にFLIR社製サーマルカメラを導入

BASFは、ドイツ南西部のルートヴィッヒスハーフェンに10km<sup>2</sup>を超える広大な敷地で本社および総合生産拠点を構えている。この広大な敷地では、数々の危険な化学物質を使用し、独自の技術を駆使した生産活動が日夜行われているため、この敷地の外周セキュリティが最重要な要件となっている。

## 【導入条件】

外周警備システムは、明るさの条件に左右されず、侵入者を確実に検出できるシステムでなければならない。外周は約20kmに及び、敷地は多種多様な地形に囲まれている。例えば、境界の一部はライン川に隣接し、別の一部は道路や都市に隣接している。こうした異なる地形に対応するためには、地上センサやフェンスセンサ、モーションセンサなど多様なツールを使う必要があった。しかし、交通量が多いために振動によるアラーム誤作動が多発する場所、十分な設置スペースがない場所、環境上の理由から設置できない場所などもあり、長距離監視ができるツールが必要だった。



## 【導入前の検証】

BASFは当初、CCTVカメラとVCA(映像解析ソフトウェア)導入を検討した。しかし、このシステムでは屋外でうまく機能しない懸念があった。また、暗闇で

はCCTVカメラの映像はコントラストが低く、侵入者を自動検知できなかった。そこで、フリーシステムズ製の外周警備用赤外線サーマルカメラの新モデルを知った。

赤外線サーマルカメラは、あらゆる物体から温度に応じて放射される赤外線の放射量を記録する。人体とその周囲には温度差があり、赤外線サーマルカメラは明るさでなく温度差を記録するため、VCAで侵入者を確実に検出できた。



## 【導入システム】

赤外線サーマルカメラを購入する前に、赤外線サーマルカメラを使った警備システムが常に有効であることを確認するため様々なテストを実施した。テストの結果、システムが確実に機能することを確信した上で、河川沿いを監視用にフリーシステムズから赤外線サーマルカメラ24台を購入した。

フリーシステムズの赤外線サーマルカメラが簡単に設置でき、メンテナンスがほとんどいらない点も評価している。




「CCTVカメラを設置している支柱が既にあつたため、サーモグラフィの設置作業は、電源コンセントを差し、中央管制室に映像送信用の光ファイバケーブルをつなぐだけで完了した。

## 【導入効果】

この24台のサーモグラフィは非常に満足のいく成果を上げた。そのため、赤外線サーマルカメラの使用範囲を拡大することを決めた。フリーシステムズの赤外線サーマルカメラで技術的な問題が生じたことはなく、導入後のメンテナンスは全く不要だ。赤外線サーマルカメラは色ではなく温度差を記録するため、VCAは侵入者と鳥や水の揺らぎなどを正確に見分けることが可能だ。

これまで不法侵入者ではない対象にアラームが作動した事例は1度だけで、川の水をサンプルとして採取していた社内の環境専門家にアラームが作動した。しかし、おかげでシステムが有効に機能していることを確認できたのだから、この事例は貴重な体験だった。

## 【追加導入機種】

BASFでは、固定式のFLIR SRシリーズに続き、ハンディタイプ赤外線サーマルカメラのFLIR HSシリーズの追加導入を決定した。警備担当者が夜間にアラーム調査を行う際に携帯できるようHSシリーズの赤外線サーマルカメラを2台購入した。赤外線サーマルカメラを携帯することで、警備担当者は余裕を持って侵入者を確認、追跡できる。侵入者の早期発見に役立つだけでなく、警備担当者の安全向上にもつながっている。 



# アクシス ネットワークビデオ ソリューション ロードショー2012、東京、大阪、名古屋で開催

アクシスコミュニケーションズは、年1回開催している「アクシス ネットワークビデオ ソリューション ロードショー2012」を10月12日に東京のTKP大手町カンファレンスセンター、10月19日に大阪のマイドームおおさか、10月26日に名古屋のTKP名古屋駅前カンファレンスセンターで開催した。

今回もいくつかのブロックに分けたセッションを用意していた。まず製品とAxis ネットワーク・ビデオ・ソリューションの紹介ではM30やコリドール・フォーマット、P3384やP12に関する説明があった。

続いて、ソリューション導入事例の紹介では、高速道路の高速監視や公共施設内の

映像を活用した入退管理、小売業での滞留状況の把握やアナログシステムからの乗り換え、レストランチェーン店全店のモニタリングと録画や低額予算での小規模システムの構築、多拠点への同時映像配信や大規模地下街、大型商業施設での来館者数計数など、導入事例を幅広く紹介した。

その後、Q1602に搭載されている、暗い状況でも現実に極めて近い色を達成するLightfinder(ライトファインダー)テクノロジーの解説が詳細に展開された。

そして、製品比較セミナーでは、アクシス社製品と競合企業製品の比較について、関連技術の解説を含めて紹介していた。冒頭で豊富な製品群を一覧表で比較し、引き

続きM1103とデイ/ナイト機能、

M1113と最低照度、

M1114とアスペクト比、Q1604とワイド

ダイナミックレンジ、M1344とデイ/ナイト・フィルタ、P3354とアイリス、専用チップARTPECと汎用チップなど、様々な角度から製品の差違を開設した。

別室では、セミナーで紹介された業種別ソリューションをパートナー各社が実演・展示して、複合的にソリューションを紹介して、イベントの各セッションが絶妙に連携していた。



# IPCC2012in東京、最大の出展社数で開催

VioStorを累計10,000台を市場に供給しているR.O.DIは、11月8日と9日の2日間で東京浅草の都立産業貿易センター台東館でIPCC2012in東京を開催した。

## 【出展企業】

出展企業は、ネットワークカメラ部門では、アクシスコミュニケーションズ、Bosch Security Systems、パナソニックCCソリューションズ、ソニービジネスソリューション、キヤノンマーケティングジャパン、Brickcom、フリーウェイズネットワーク、テスコムジャパン、MOBOTIX JAPAN、アツミ電気、店舗プランニング、エルモ社、DYNACOLOR JAPAN、ACTi、GeoVision、ビデオテクニカの17社。

周辺機器部門では、アイコム情報機器、

ユタカ電機製作所、ネットカムシステムズ、明京電機、ネットギアジャパン、NDS、NTTコミュニケーションズ、ナカヨ電子サービス、サイバートランスジャパン、オブテックス、サン電子、住友電工ネットワークス、ハヤミ工産の13社。

## 【IPネットワークカメラの映像評価】

今回特に注目を集めたのが、初めての試みとなる「IPネットワークカメラ映像エバリュエーション(評価)」だった。本企画は、ブラレールの傍らに16台のIPネットワークカメラを設置し、1か所に集めた映像モニタを見て、来場者が比較し評価するという内容。カメラにはブランド名が記載されているが、モニタ側は番号だけが示されているだけで、どのカメラの映像かが分からない。そのため、ブラン

ドによる影響を一切排除して、映像を評価することができる。



ただし、これは来場者である専門家がどのような観点から映像を選択したかを探るもので、単に得票数を競うコンテストではと明記しておく必要がある。映像パターンやカラーチャートなどでの表示をしないで、敢えてモニタ映像だけで選択するようにした理由もそこにある。

参加企業からは、様々な条件下での映像評価を期待したいとの声もあり、初回の開催としては一応の成果を上げることができたと言えよう。

国内

11月

**Embedded Technology2012**

会期：2012年11月14日～16日

会場：パシフィコ横浜

主催：組込みシステム技術協会

URL：www1.jasa.or.jp/et/ET2012/index.html

**ものづくりNEXT↑2012**

会期：2012年11月14日～16日

会場：東京ビッグサイト(東京国際展示場)西1ホール

主催：日本能率協会

URL：http://www.jma.or.jp/next/#

12月

**国際画像機器展2012**

会期：2012年12月5日～7日

会場：パシフィコ横浜

主催：日本画像・計測機器協議会

URL：www.adcom-media.co.jp/ite/

2013年1月

会期：2013年1月31日～2月3日

会場：パシフィコ横浜

主催：カメラ映像機器工業会

URL：www.cpplus.jp/index.shtml

2月

**JAPAN SHOP 2013**

会期：2013年2月13日～14日

会場：マイドームおおさか 1階展示場

主催：日本自動認識システム協会

URL：http://www.autoid-expo.com/osaka/

3月

**JAPAN SHOP 2013**

会期：2013年3月5日～8日

会場：東京ビッグサイト 東4・5ホール

主催：日本経済新聞社

URL：www.shopbiz.jp/js/

**建築・建材展 2013**

会期：2013年3月5日～8日

会場：東京ビッグサイト 東5・6ホール

主催：日本経済新聞社

URL：www.shopbiz.jp/ac/

**リテールテックJAPAN 2013**

会期：2013年3月5日～8日

会場：東京ビッグサイト 東1・2ホール

主催：日本経済新聞社

URL：www.shopbiz.jp/rt/

**NFC & Smart WORLD 2013**

会期：2013年3月5日～8日

会場：東京ビッグサイト 東2ホール

主催：日本経済新聞社

URL：www.shopbiz.jp/nf/

**SECURITY SHOW 2013**

会期：2013年3月5日～8日

会場：東京ビッグサイト 東2ホール

主催：日本経済新聞社

URL：www.shopbiz.jp/ss/

**フランチャイズ・ショー 2013**

会期：2013年3月5日～8日

会場：東京ビッグサイト 東2ホール

主催：日本経済新聞社

URL：http://www.shopbiz.jp/fc/

**パーキング・ジャパン 2013**

会期：2013年3月13日～15日

会場：東京ビッグサイト 西1・2ホール

主催：ジェイシーレゾナンス

URL：www.parking-japan.com/

プライベートイベント

**MOBOTIX JAPAN 新製品発表会2012**

開催日：11月29日

時間：9:30～17:30

主催：MOBOTIX JAPAN

場所：横浜ベイシエラトン ホテル&タワーズ 4F 清流&浜風

対象者：監視システム販売会社、エンドユーザー

入場料：無料、同業他社メーカー関連者は不可

URL：http://www.mobotix-japan.net/event/

問い合わせ先：045-227-6285

**第9回 IP監視カメラシステム 商品展示会 (ICE9)**

開催日：12月07日

時間：10:00～18:00

主催：ケーティーワークショップ

場所：東京国際フォーラム ガラス棟G409

対象者：監視システム販売会社、エンドユーザー

入場料：1000円(Webからの事前登録で入場料無料)

URL：http://www.kt-workshop.co.jp/

問い合わせ先：03-5491-5720

プライベートイベント情報募集

a&s JAPANでは企業の皆様が主催するイベント情報を受け付けています。提供情報は下記の項目です。

イベント名、開催日時、主催者名、会場、対象者、入場料、定員、情報掲載URL、問い合わせ先

〈集客用メール配信も承ります。〉

詳細は下記までご連絡ください。

03-6206-0448

担当：小森

## 12月

## MEFSEC 2012

会期：2012/12/1-12/4

会場：Cairo International Convention Center,  
Cairo, Egypt

Email：egytec@egytec.com

URL：http://www.mefsec-middleeast.com

## Security China 2012

会期：2012/12/3-12/6

会場：China International Exhibition Center  
(New Center), Beijing, China

Email：international@bizcspia.com

URL：www.securitychina.com.cn

## Expoprotection

会期：2012/12/4-12/7

会場：Paris Porte de Versailles, Paris, France

Email：patricia.jacquot@reedexpo.fr

URL：www.expoprotection.com

## IFSEC &amp; OSH Arabia 2012

会期：2012/12/9-12/11

会場：Riyadh International Conference and  
Exhibition Centre (RICEC), Riyadh,  
Saudi Arabia

Email：charlie.cracknell@ubm.com

URL：www.ifsecarabia.com

## 2013年1月

## ※Intersec 2013

会期：2013/1/15-1/17

会場：Dubai International Convention and  
Exhibition Centre, Dubai, UAE

Email：intersec@uae.messefrankfurt.com

URL：www.intersecexpo.com

## 2月

## Security and Safety Technologies 2013

会期：2013/2/12-2/15

会場：Crocus Expo, Moscow, Russia

Email：inshakova@groteck.ru

URL：www.eng.tbforum.ru

## Safe Secure Pakistan

会期：2013/2/26-2/28

会場：Karachi Expo Centre, Islamabad,  
Pakistan

Email：info@safesecurepakistan.com

URL：www.safesecurepakistan.com

## ※Secutech India

会期：2013/2/28-3/2

会場：MMRDA Grounds, Bandra Kurla  
Complex, Mumbai, India

Email：stid@newera.messefrankfurt.com

URL：www.secutechindia.co.in

## 4月

## ISC West 2013

会期：2013/4/10-4/12

会場：Sands Convention Center, Las Vegas,  
NV, U.S.

Email：inquiry@isc.reedexpo.com

URL：www.iscwest.com

## ※Secutech International 2013

会期：2013/4/24-4/26

会場：Taipei World Trade Center Nangang  
Exhibition Hall, Taipei, Taiwan

Email：echo.lin@newera.messefrankfurt.com

URL：www.secutech.com

## 5月

## IFSEC International 2013

会期：2013/5/13-5/16

会場：National Exhibition Center, Birmingham,  
United Kingdom

Email：kristan.johnstone@ubm.com

URL：www.ifsec.co.uk

## EXPOSEC 2013

会期：2013/5/14-5/16

会場：Centro de Exposições Imigrantes, Sao  
Paulo, Brazil

Email：lccipa@cipanet.com.br

URL：www.exposec.tmp.br

## 下記の展示会への出展のお問い合わせはASJ社までどうぞ

## 2013年1月

## ※Intersec 2013

会期：1月15日～17日

会場：ドバイ国際展示会議センタ

Email：komori@asj-corp.jp

URL：www.intersecexpo.com

## 2013年2月

## ※Secutech India

会期：2月28日～3月2日

会場：ムンバイMMRDA グランド

Email：komori@asj-corp.jp

URL：www.secutechindia.co.in

## 2013年3月

## ※Secutech International 2013

会期：4月24日～26日

会場：台北市南港国際展示会場

Email：komori@asj-corp.jp

URL：www.secutech.com

# secutech

INDIA



## 新技術からソリューションまで

インド市場における  
電子セキュリティ、消防と防災、国防に関する  
専門展示会とカンファレンス

会 期：2013年2月28日から3月2日まで  
会 場：インド共和国ムンバイ市  
MMRDA グラウンド  
バンドラ - クルラ・コンプレックス

U R L：www.secutechindia.co.in

日本窓口：ASJ 合同会社  
海外事業部門  
TEL：03-6206-0448  
FAX：03-6206-0452  
E-MAIL：komori@asj-corp.jp



ABEC

 messe frankfurt

# ソニー、業界初となる 60fpsフルHD撮影が可能な ネットワークカメラを発売

ソニーは、新規開発の画像処理エンジン「PELA ENGINE EX」の採用により、業界初となる60fpsフルHD撮影を実現したネットワークカメラ6機種を発売した。今回発表した製品は、ボックス型のフルHDモデルSNC-VB630、720pモデルSNC-VB600およびSNC-VB600Bの3機種。そして、ドーム型のフルHDモデルSNC-VM630、720pモデルSNC-VM600およびSNC-VM600Bの3機種。



## 【60fpsフルHD映像の出力】

ボックス型SNC-VB630とドーム型SNC-VM630は、1080p(1,920×1,080ピクセル)のフルHD映像を60fpsで出力し、ボックス型SNC-VB600とドーム型SNC-VM600は、720p(1,280×720ピクセル)のHD映像を60fpsで出力することができる。これにより、HD以上の高解像度映像を60fpsの円滑な映像による監視が可能となる。また、普及機種のボックス型SNC-VB600Bとドーム型SNC-VM600Bは、720p(1,280×720ピクセル)のHD映像を30fpsで出力ができる。

## 【最低被写体照度の大幅な向上】

新開発のExmor CMOSイメージセンサとノイズ除去機能の改善により、最低被写体照度を従来機種と比較して大幅に向上させている。SNC-VB630とSNC-VM630でカラー時0.1ルクス、SNC-VB600とSNC-VM600そしてSNC-VB600BとSNC-VM600Bでカラー時0.05ルクス

という最低被写体照度を実現し、低ノイズで精細な映像を提供ができる。

## 【さらに進化したView-DR】

View-DR(ビュー・ディーアール)は、1フレーム内でシャッタースピードが異なる4枚あるいは2枚の画像を合成し、同時に明暗部コントラスト補正機能を組み合わせることで、明部と暗部の視認性を飛躍的に向上させる技術。今回は本機能をさらに進化させ、暗部のノイズ感の減少と明部の精細感を向上。

## 【対応H.264のアップグレード】

これまでのH.264ベースライン・プロファイルに加えて、メイン・プロファイルとハイ・プロファイルに対応したことで、より高い圧縮率で記録容量と通信帯域を低減することができる。

さらに、音声圧縮機能はAAC(16kHz/48kHz)に対応したことで、従来のG.711/G.726と比較して高音質での音声記録を可能にした。

## 【インテリジェント機能の搭載】

●DEPA Advanced機能：画面上に仮想的に引いたライン上を一定方向に通過した人間や物体を検知したり、置き去りを検知したりする。

●カメラ妨害検知機能：スプレー塗布やカメラ位置の変更、カメラレンズ部への被覆などを検知する。

●顔検出機能：顔認証と異なりストレージ側との適合の必要性がなく、顔そのものを検出する機能。  
※置き去り検知機能および顔検出機能はファームウェアVer.1.4以降で搭載。

## 【スマートフォンからの遠隔監視】

Android搭載スマートフォンやiPhoneなどのブラウザからカメラにアクセスし、映像を確認することができる。

## 【便利なアシスト機能】

●イージーフォーカス機能：全機種に設置時のフォーカス調整をアシストする機能を搭載。カメラ本体またはWebブラウザからの操作で、フォーカスの自動調整ができる。そのため、カメラ設置時におおまかなフォーカス調整をするだけで、設置後のフォーカス自動調整が簡単にでき、カメラ設置時の作業を軽減ができる。

●イージーズーム機能：ドーム型カメラのSNC-VM630とSNC-VM600そしてSNC-VM600Bに搭載する機能で、カメラ本体またはWebブラウザからの操作で、ズーム倍率を変更し撮影範囲を調整可能。

## 【充実の基本性能】

上記以外にも下記の基本機能を装備している。

- IRカットフィルター方式デイ&ナイト機能。
- エッジストレージによるカメラ内での映像記録を可能にするSDカードスロットの搭載。
- 支柱設置時などに生じる振動による映像のブレを軽減するイメージスタビライザー機能。
- IEEE802.af準拠のPoE、AC24V、DC12Vの3電源に対応。
- 常時使用可能なアナログ出力(BNC)の標準装備。
- ONVIFに準拠(ファームウェアVer.1.4以降)。

## 【価格と発売時期】

6機種に戦略的な価格設定をしている(税込)。SNC-VB630を231,000円、SNC-VB600を168,000円で11月8日から、SNC-VB600Bを132,300円、SNC-VM600を168,000円で11月中旬に、SNC-VM630を231,000円、SNC-VM600Bを147,000円で12月中に発売する。



# MOBOTIX JAPAN、ヘミスフェリック技術搭載S14とQ24用ソフトを発表

## [S14シリーズ]

●S14M：1眼タイプのS14Mは1つのセンサを搭載し、レンズを基板モジュール(FlexMountコア)に固定していることで、フレキシブルに壁や各種装置内に固定でき、レンズ部分のみを露出させる設計が可能。これにより、カメラと意識せず映像を取得することができる。

●S14D：2眼タイプS14Dは、2つのセンサ・モジュールとコアとなる基板部分と2mのUSBケーブルで構成している。FlexMountコアと2つのレンズ・センサ・モジュールをそれぞれ2mのUSBケーブルで接続する。

例えば、カメラ FlexMountコアを任意位置



に固定し、隣接した2つの部屋に各1個センサ・モジュールを設置することで、2部屋をS14D 1台で同時に管理することができる。また、2つのセンサ・モジュールの1つをカラー、もう1つを白黒センサにして、同方向を向けて設置すると、180度パノラマ映像や天井からの360度全方位のデイ/ナイト・カメラとして、利用可能。

また、S14Dは、レンズ・センサ・モジュールがフレキシブルに実装できるため、装置内で

統合化することが可能。例えば、ATMマシンの中に FlexMountコアを入れ、装置前面にレンズ部分を表に露出させる。

●共通仕様：レンズ・センサ・モジュールには、壁から15度下に向けるマウントがあり、180度パノラマ撮影時に、高所からの撮影の補助としての利用が可能。

また、S14シリーズは、microSDカード(64GBまで)を搭載、microSD内に画像を保存することができる。

MOBOTIX JAPANでは、S14シリーズをこれまで同様、オフィスなどの監視カメラとして利用する場面と、機器や装置に組み込むことで付加価値を生み出すツールとしての利用を想

新製品

## FlexMount Camera S14

Discreet. Flexible. Hemispheric.

S14 Flex Mountは、小型レンズユニットのおかげで、場所を選ばない柔軟な設置が特徴です。カメラハウジング1台に対し、2つの半球レンズユニットが取り付け可能なデュアルカメラ・システムです。

目立たない  
柔軟な設置 >>>  
半球レンズ



- レンズの組合せにより、駆動部分を有さない堅牢な全方位デイ/ナイト・カメラとしてもご利用いただけます。(IP65準拠、マイク内蔵)
- 2つの半球レンズ機能で最大8台のカメラを置き換え可能
- MiniUSB、MxBus接続で機能拡張が可能
- ネットワーク負荷なく録画できる内蔵DVR(最大64GBのMicroSDカード)
- DVR/NVRや録画ソフトを必要とせず、大容量NASに直接長期保存(最大4TB)



180° パノラマ



180° パノラマ

壁を隔てて隣接した部屋や、エリアを同時に監視することができます。(例：1台で屋外と屋内の同時監視)

定している。

さらに、別売のMX-GPS-Boxを接続できるMxBusを統合しているため、振動に強いS14シリーズにmicroSDカードを搭載し、MX-GPS-Boxを統合して、バスなど移動体の監視カメラとしての利用もできる。

#### 【製品】

- 1眼タイプSD14M
- 型番：S14M-Secure D11。
- 2眼タイプSD14D
- S14D-Set1・S14FlexMountコア+L11レンズ・カラーセンサ・モジュール×1
- S14D-Set2・S14FlexMountコア+L11レンズ・カラーセンサ・モジュール×2
- S14D-Set3・S14FlexMountコア+L11レンズ・カラーセンサ・モジュール×1
- +L11レンズ・白黒センサ・モジュール×1 (デイ/ナイト仕様)

#### 【Q24用統合ソフトウェア】

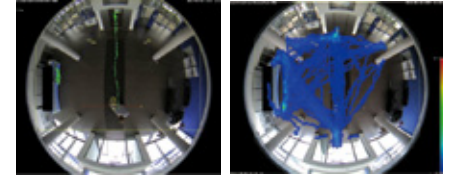
Q24用統合ソフトウェアV4.14.11は、人数カウントと動線密度解析を行い、MxAnalyticsを統合しており、2012年9月から供給開始している。

人数カウントは、Q24の画像内に仕切りラインを入れ、そのラインを境に二方向に向かう人数をカウント計数し数値化する。また、このカウントした数値は、定期的にレポートを電子メールで通知することができる。ライン数は、最大100ラインまでの設定が可能。この機能により、特定場所の人の出入りをカウントすることができる。

動線密度解析では、認識された移動体の動線を表示するとともに、動線の密度をヒートマップで表示する。なお、移動体は人間だけでなく物体も認識することができる。

画像解析ソフトウェアはQ24専用で、既存のQ24ユーザも、無償ソフトウェアをアップデートすることで利用が可能。

MOBOTIX JAPANでは、MxAnalyticsにより、従来の監視カメラとしての用途に加え、同じカメラ映像を利用し、店舗のみならず倉庫をはじめ様々な施設での効率的な利用方法を検証するソリューションとしての活用を見込んでいる。



#### 【アクセサリ類も強化】

同社はまた、ほかにIPドア・ステーションT24のオプション製品としてキーパッドMX-Keypad-EXT-PW、T24の専用オプション・モジュールとしてセキュリティ・ドア・オープナーMX-Door1-INT-PWも発表している。さらに、外気温や照度、速度や正確な時刻そして位置情報などの情報を提供するMX-GPS-Boxも発表した。



## Q24 画像解析機能 MxAnalytics

Q24の画像解析機能により、画像内を通行する人数や動線を確認することができるため、セキュリティだけではなくマーケティングツールとしても活用することができます。



## マーケティングツールとセキュリティ >>>



Q24M-Sec-D11



人数カウント



カウントレポート



動線密度解析

#### 人数カウント

- 画像内に人数カウントしたいラインを設定すると、そのラインで人数カウントされたIn/Outの数値が表示
- タイムタスクを利用して、定期的（週次/月次）に時間/曜日/月ごとの人数カウントのレポートをE-mail通知
- 画像内に複数のラインを設定することが可能（最大100ライン）

#### 動線密度解析

- 人の動線密度を表示することが可能
- タイムタスクを利用して、毎日の動線密度状況のレポートをE-mail通知
- カメラにWebアクセスすれば、日付/時間を指定して、15分ごとの動線密度状況を確認することも可能

**MOBOTIX JAPAN**

[www.mobotix-japan.net](http://www.mobotix-japan.net)

Tel: 045-227-6174

E-mail: [cam-sales@mobotix.jp](mailto:cam-sales@mobotix.jp)

# オブテックス、セキュリティ市場で新たな展開

世界的なセンシング技術企業のオブテックスは、屋外セキュリティビジネスでの新たな展開を発表した。様々なセンシング技術を保有する同社は、1979年から市場に提供している赤外線センサを筆頭に、2008年から市場に投入しているレーザセンサ、2010年に傘下に収めた米国ファイバ・センシス社のファイバ・センサなどで世界市場を牽引している。



そして今回、2012年1月に買収した英国レイテック社製監視用投光器レイテック・バリオの日本市場での販売を開始した。レイテック社の製品を加えたことにより、同社は屋外侵入警戒を用途や現場に合わせたセンサシステムを提案できる体制を整えたとしている。

## 【監視用投光器】

英国レイテック社は、監視カメラ補助投光器市場で抜群の技術力を有している。その特徴として3つ挙げることができる。

### ●監視カメラに適した独自の楕円ビーム配光

従来の赤外線照明の映像では配光が不均等で、中心部に「白とび」周辺部に「黒つぶれ」が発生してしまい、適正な映像を確保できる範囲が狭められてしまう。

しかし、レイテック社独自の光学技術による映像では、分散平均化された配光で全画面にわたり適切に露光され、近くから遠くまで鮮明な画像を確保することができる。

### ●豊富なラインアップと変更可能な配光パターン

ラインナップとして赤外線/可視光があり、さらにそれぞれに短・中・長距離モデルがある。さらに、レンズ交換により配光パターンを変更することができる。パターンは5種類あり、様々な環境に合わせて投光角度を現地で変更することができる。

### ●コンパクトなデザインに様々な機能を搭載

投光機に照度センサを内蔵し、専用リモコンで各種の設定が可能であり、さらに各種センサとの連動もできる。

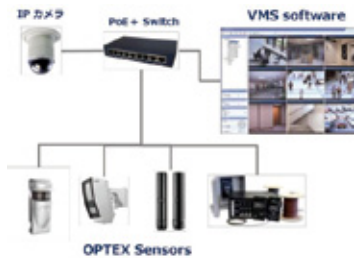
オブテックスは今後の事業展開として、既存の監視カメラに自社技術や製品であるIR(赤外線)投光器、IR(赤外線)投光器とセンサ、LED(可視光)投光器などを組み合わせて取り組む考えである。

### 【マイルストーン・システムズ社との協業】

オブテックスは、映像監視ソフトウェア(VMS)の世界的企業マイルストーン・システムズ社との協業を開始した。具体的な協業内容は次の通りで、協業して開発した製品は世界市場で供給する。



1. 協業対象のマイルストーン社製品  
VMSのうち、Xprotectエンタープライズ版とXProtectコーポレート版の2製品が対象となる。
2. 協業する内容  
上記の2つのエディションにオブテックスの人感センサやレーザセン



サのプロトコルを搭載する。特に屋外用製品を重点的に取り込めるようにしている。

### 3. 搭載カスタマイズ

Xprotectの画面改編やオブテックス社製品とのプロトコル設定などのカスタマイズは、マイルストーン社とオブテックスで分担して開発。ただし、マッピング機能は現在開発中で完成後に搭載する予定。この結果、Xprotectエンタープライズ版とXProtectコーポレート版は、それ以外のエディションとは異なる、言わば「Xprotectオブテックス仕様版」となる。

### 4. 販売営業活動

今回の協業開始にあたり、オブテックスは同社の世界各国に拠点で既に取り引のある顧客に提案はするが、具体的な営業や営業システム構築や各種設計は、マイルストーン・システムズ社の世界市場のパートナー企業が担当する。また、今回の協業により、競合製品との差別化を図るとしている。

### 5. 日本市場での展開

マイルストーン・システムズ社は現在、日本市場におけるパートナー企業の拡充を進めており、OEM供給を含めて幅広く「Xprotectオブテックス仕様版」を提供できる体制を整備する考えだ。





# アクシスコミュニケーションズ、 AXIS M3006-V固定ドームネットワークカメラと AXIS Q7411ビデオエンコーダを発売

## 【3006】と【3006の特徴】

### 【AXIS M3006-V】

AXIS M3006-V固定ドームネットワークカメラは、同クラスのカメラ初となる水平画角134°という非常に広い範囲をカバーするレンズを搭載している。3メガピクセル/HDTV 1080pの高解像度と相まって、従来の固定カメラでは実現できないほどの広い範囲を撮影することができる。また、カメラ本体は直径約13センチと非常に小型で、しかもIK08等級をクリアした耐衝撃性能と、IP42等級の防水・防塵性能を備えており、水滴や外部の衝撃からカメラ本体を保護する。



AXIS M3006-Vのレンズ部分はアングル調整が容易な3軸構造で、出荷時にピントが調整済のため、カメラの取り付けと調整を大変スムーズに行うことができる。また、デジタルPTZ(パン・チルト・ズーム)とマルチビューストリーミングに対応しており、全体を撮影しながら、任意の部分を別個にクローズアップすることができる。撮影映像はH.264(メイン・プロファイル)またはMotion JPEGの各圧縮方式で配信される。これに加え、本体内にmicroSDHCカードスロットを搭載しており、撮影した映像をmicroSDカード(別売)に記録が可能となっている。また、PoE(Power over Ethernet: IEEE802.3af)をサポートしており、ネットワーク・ケーブル1本でデータ伝送と

電源供給の両方を行うことができる。

### 【AXIS M3006-Vの主な特長】

- 最大解像度3メガピクセル/HDTV 1080p、フルフレームレート(30フレーム/秒)
- 同様の解像度を持つカメラの中で群を抜く低価格
- IK08等級の耐衝撃性能、IP42等級の防水・防塵性能を備えた、直径約13センチの小型ボディ
- レンズ部は3軸構造かつピント調整済で、カメラの設置・調整がスムーズ
- デジタルPTZ、マルチビューストリーミングに対応
- H.264およびMotion JPEGの各圧縮方式に対応
- PoE (Power over Ethernet IEEE 802.3af、)に対応。
- カメラ本体にmicroSDカードスロットを搭載
- microSDカードの他、NAS、ネットワークビデオレコーダーなどにも録画可能



AXIS M3006-V 固定ドームネットワークカメラの税別価格は70,000円、2012年11月中旬から販売を開始する。

### 【7411】と【7411の特徴】


### 【AXIS Q7411ビデオエンコーダ】

AXIS Q7411ビデオエンコーダは、アナログカメラによる映像監視システムをIP/ネットワーク方式へ移行する製品で、動きの激しい場面においてもスムーズな

映像を実現するべく、最大60フレーム/秒という高いフレームレートを実現している。また、対応する全ての解像度で、異なる複数のビデオストリームを最大フレームレートで配信が可能である。さらに、Motion JPEGに加えてH.264ベースライン・プロファイルならびにメイン・プロファイルの各圧縮方式に対応しており、データ容量とネットワーク帯域を極力抑えた映像配信を可能にしている。

### 【AXIS Q7411の主な特長】

- 最大60フレーム/秒の映像配信を実現
- アナログカメラ映像の入力ポート(BNC端子)を1チャンネル分搭載
- H.264 ベースライン・プロファイルに加え、メイン・プロファイルにも対応
- 映像をmicroSD/microSDHCカードやNAS、NVR(ネットワークビデオレコーダ)などに録画
- Power over Ethernet (IEEE 802.3af)またはDC電源による給電に対応
- 双方向の音声対応
- 設定可能なデータ入出力ポートを搭載
- シリアルポートに加え、同軸ケーブルを経由したPTZ(パン・チルト・ズーム)制御にも対応
- AXIS Camera Application Platformに対応した映像解析・分析アプリケーションとの互換性

AXIS Q7411 ビデオエンコーダの税引希望小売価格は70,000円、2012年10月25日より販売開始している。 

# ヨネイ、アビジロン社製映像機器を積極販売

ヨネイは、2004年設立のカナダのアビジロン社製高解像度映像監視システムを積極的に販売している。本システムは、高解像度カメラとNVR、HDSM方式および



録画データ縮減機能を有する映像管理ソフトウェア(VMS)の3要素で構成している。

## 【高解像度カメラ】

### ●H.264 HD固定カメラ

レンズ一体型カメラ。圧縮方式H.264とMotion JPEGの両方式に対応。解像度1M(最大30fps)/2M(最大30fps)3M(最大20fps)/5M(最大13fps)タイプを用意。レンズは、1M/2Mタイプが4.7-84.6mm, f/1.6, auto-irisと、3-9mm, f/1.2, Pアイリスを用意。遠隔ズームとフォーカス機能を装備。3M/5Mタイプが3-9mm, f/1.2, Pアイリス、遠隔ズームとフォーカス機能を装備。

### ●JPEG2000 HD固定カメラ

圧縮方式JPEG2000対応。解像度1M(最大39fps)/2M(最大18fps)3M(最大12fps)/5M(最大12fps)タイプを用意。レンズはC/CSマウント仕様。

### ●H.264 HDドームカメラ

圧縮方式H.264とMotion JPEGの両方式に対応。解像度1M(最大30fps)/2M(最大30fps)3M(最大20fps)/5M(最大13fps)タイプを用意。レンズは3-9 mm, f/1.2, Pアイリス、遠隔フォーカス&ズーム機能を全製品に搭載。

### ●JPEG2000 HDドームカメラ

圧縮方式JPEG2000対応。解像度1M(最大39fps)/2M(最大18fps)3M(最大

12fps)/5M(最大12fps)タイプを用意。レンズはC/CSマウント仕様。

### ●JPEG2000 HDプロフェッショナルカメラ

圧縮方式JPEG2000対応。解像度8M(最大7fps)/11M(最大5fps)16M(最大3fps)/29M(最大2fps)タイプを用意。レンズはC/CSマウント仕様。レンズは、キャノン一眼レフカメラ用EFマウント(バヨネット式)を全製品に採用。

### ●HD PTZカメラ

圧縮方式H.264とMotion JPEGの両方式に対応。解像度1M(最大30fps)/2M(最大30fps)タイプを用意。4.7-94 mm, 光学式20倍ズーム、f/1.6, 自動焦点のレンズを搭載。

### ●JPEG2000 HDパノラマドームカメラ

圧縮方式JPEG2000対応。映像範囲180度で解像度8M(最大7fps)の8M180と映像範囲360度で8M(最大7fps)8M360の2種を用意。2メガピクセルのセンサを搭載したカメラを4基搭載。電子PTZ機能付き。4 x 4.4mm f/2.0仕様のレンズを採用。

## 【VMS】

アビジロン社製VMSのACC(Avigilon Control Center) 5.0の主な特徴として、HDSMおよび録画データ縮減機能がある。

### ●HDSM

HDSM(High-Definition Stream Management)は、フルHD画像を撮影時点で圧縮せずに、画像帯域を最適化して伝送。そして、部分抽出したウィンドウ上の表示や録画データも高品位画質を維持することができる。これにより、高解像度録画データの伝送と最小限の通信帯

域での映像転送、高解像度映像での再生が可能。

### ●録画データ縮減機能

8fps録画データを15日後に4fps、30日後に2fpsに削減することが可能な独自の録画データを縮減する機能で、全録画データを縮減することができる。これにより、映像データを最小限のディスク容量での保存と、録画データの迅速な検索が可能。

### ●主要カメラに対応

ネットワークカメラの世界的な主要メーカーであるアクシス社やパナソニック、ソニーやMOBOTIX社をはじめ、ONVIF対応のカメラによるシステム構築が可能。

### ●ユーザフレンドリな操作

直感的にしかも簡単に様々な機能を使うことができるユーザフレンドリな操作を実現。

### ●用途に応じた3つのエディション

小規模システム用のコア版、中規模システム用のスタンダード版、大規模システム用のエンタープライズ版を用意。

## 【NVR】

NVRは、ワークステーション型とサーバ型を用意している。ストレージは、ワークステーション型では500GB/1TB/2TB/3TBから選択し、サーバ型は2.5TB/5TB/7.5TB/10TB/15TB/30TBの中から選択し、設置後の拡張も可能となっている。両方の型ともACCをプレインストールして供給する。

そのため、同社製カメラならば、プラグアンドプレイですぐに動作することができる。また、ACCのアップデートが自動更新されるため、ユーザは常に最新のソフトウェア環境で使用することができる。



第21回 セキュリティ・安全管理総合展

# SECURITY SHOW 2013

同時開催

特別企画展 労働安全衛生EXPO

## 出展社 募集中



IPカメラゾーンも新登場！国内最大級のセキュリティ総合展の出展社を募集中

2013年 3月5日 火 ▶ 8日 金

東京ビッグサイト [東2・3ホール]

主催：日本経済新聞社

募集要項

出展料金：1小間あたり 367,500円 +  
サイト参加料 1社 52,500円 (税込み)

申込締切：2012年10月12日 (金)

募集小間数：170社 500小間 (予定)

来場者数：150,000人 (見込み)

お問い合わせ

SECURITY SHOW 事務局

TEL 03-6256-7355

詳細と出展案内のご請求は ▶ <http://www.securityshow.jp/> から

## ■ 熱線センサ 立体警戒型IR81/面警戒型IR82

- 直径125mmのコンパクトサイズ
- 高い密閉性を実現
- ワンタッチ装着で取り外しボタンにロック機能を装備
- 業界初4ミラー構造による独自のゾーン構成と検知アルゴリズム
- 誤報対策に高い効果
- 近距離の虫や床や壁際の小動物にも対応



アツミ電気

☎: 053-428-4111

E-Mail: kikaku@atsumi.co.jp

URL: www.atsumi.co.jp

## ■ VMS ビデオ監視マネジャ7.0

- ネットワーク統合映像管理をAPI経由およびSDKでITアプリケーションクラウド用ウェブをサポート
- 映像録画などのアプリケーション用の設計
- シスコUCS BシリーズやCシリーズ、UCSエクスプレス上のセキュリティ操作を仮想化した構造
- VSMごとに最大10,000カメラをサポート

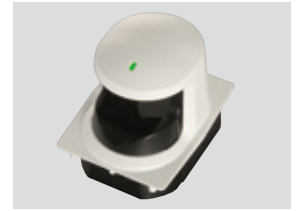


Cisco Systems/米国

Email: cs-support-apj@cisco.com

## ■ 指静脈認証ユニット H1EAX

- 撮影・認証・照合結果の通知までをユニット内で処理
- 機器装置への組み込みが容易
- 12,000指まで登録が可能な大容量
- 1,000人を約1.5秒で認証する高速処理
- 他人受入率(FAR)が1/1500万と高精度
- 20~50度までと幅広い動作温度



日立製作所 都市開発システム社

☎: 03-3620-1040

URL: http://www.hitachi.co.jp/products/urban/security/yubi/

## ■ ドームカメラ 11000 HD

- ワイド・ダイナミック・レンジ技術
- 低照度性能
- いかなる照度にも対応の画質
- 圧縮方式はH.264
- フレームレート調整機能
- フルフレームレートを保証
- 映像も音声も記録



IndigoVision/英国

Email: enquiries@indigovision.com

## ■ 屋外ミニドームカメラ NC2200

- 1600×1,200解像度(2メガピクセル)で15 fps
- H.264とMPEG-4、MJPEGの映像圧縮
- 10倍デジタルズーム
- 情報処理化した映像解析
- SMSとEメールに通知
- 映像録画とイベント画像をローカルのMicroSD/SDHCに録画
- IP66準拠の耐候性ハウジング
- 2軸位置設定(手動パン/チルト)



Compro Technology/台湾

Email: security@comprousa.com

## ■ NCR875PRO(H)

- 25m先までIR照明対応の2メガピクセル・ネットワークカメラ
- 照度状況によりフルフレームでのフルHD映像を実現
- 特許のLumii技術でカメラ感度を増強し、低照度での映像ノイズを削減し、夜間映像を鮮明にする
- 自動検知により、カラー/白黒モードを切り替え



Messoa Technologies/台湾

Email: info@messoa.com

## ■ 魚眼レンズ DF360SR4A-SA2

- 画角182度で死角をなくした魚眼レンズ
- 5メガピクセルの高解像度監視カメラに対応
- 高精度非球面レンズなどを採用
- 監視映像全域にわたって高精細に映し出すことが可能
- 色収差を極限まで低減し、ピントずれのない鮮明な映像
- 24時間監視を強力にサポート



富士フィルム

☎: 048-668-2152

URL: fujifilm.jp

## ■ VMS XProtectモバイル版2

- 携帯端末などからXProtectからの映像を視認するユーザ向けに無償配布
- アップ・ストアおよびグーグル・プレーでのダウンロードが可能: Wi-Fi/3G/4G接続でXProtect監視システムへのアクセス権を付与
- 全XProtect製品と互換あり
- 出力コントロールとカメラ装置からの生中継映像を視認が可能。



Milestone Systems/デンマーク

Email: info@milestonesys.com



## セキュリティのパートナー企業を 探す最良の展示会です！

- ・基幹部品や完成品からソリューションまで全てが揃います。
- ・560社ものメーカーが出展します。
- ・電子セキュリティや基幹部品、消防&防災機器や情報セキュリティの一括仕入れが可能です。
- ・一回の出張で協業企業の検索や相手先の工場視察が可能です。

会期 2013年4月24日～26日

会場 台湾 台北南港展示会場

[www.secutech.com](http://www.secutech.com)からの早期事前登録をお勧めします。

お問い合わせ先

メッセフランクフルト・ニューエラ・ビジネスメディア  
ルイス・リー

E-mail: [lois.lee@newera.messefrankfurt.com](mailto:lois.lee@newera.messefrankfurt.com)

電話: +886-2-2659-9080 内線358



## モバイルアプリケーション NextMobile

- アルゴリズムによりモニタへのビデオストリームを最適化
- 使いやすくなるために設計されたタッチ&ドラッグのインタフェースによる、先進のユーザ感覚
- 監視映像と音声の確認
- 個々の携帯端末から中央のセキュリティまで直接映像と音声を伝送
- 多数のサイト経由で映像を視聴しカメラを遠隔で制御



Next Level Security Systems/米国  
Email: sales@nlss.com

## カラーテレビカメラ WV-CF344

- 新開発DSPのSRプロセッサ搭載で高画質を実現
  - ビデオモーションディテクター機能で監視業務を効率的にサポート
  - 幅広い設置シーンに対応するコンパクトデザイン
  - 3.6倍 広角バリアフォーカルレンズと新開発の仰角ドームを採用
- ※SRプロセッサ: Superiority and Reality image processor



パナソニックシステムネットワークス  
URL: www.panasonic.co.jp/snc/psn  
☎: 0120-878-410

## フルHDネットワークPTZカメラ SNP-6200

- 証拠レベルの2メガピクセル画像を確保
- フルHD1080解像度で16:9のアスペクトで表示
- 動いている対象者と乗り物の鮮明な輪郭を提供する先進の走査技術を採用
- H.264とMJPEGのいずれかによりマルチストリームをサポート



Samsung Techwin/韓国  
Email: stesecurity@samsung.com

## 顔認証搭載多機能IPターミナル フェイスステーション

- 登録時の顔の向きの登録で、認証時の姿勢変化に対応
- カメラ周囲の赤外線ライト26個が最適光量を照射
- 4.3インチ
- タッチスクリーン
- PoE、WiFi、TCP/IP、RS-485/232、Wiegand、USBなど多彩なインタフェース
- ICカード内蔵
- 1.1GHzCPUと4GBフラッシュメモリを搭載
- 10,000ユーザ登録が可能



セキュア  
URL: www.secureinc.co.jp  
☎: 03-5337-3860

## クワッド・フォトビーム・センサ PRO-100Q/200Q

- 4つの周波数から選択
- ビーム伝送強度の選択
- 自動利得ロック
- 環境モジュール
- プログラム済みAGC機能
- 警報記録表示
- 5個のLEDと調整用音量信号
- 再伝送機能



Sensorpro Co., Ltd./韓国  
URL: www.sensorpro.co.kr  
☎: +82-31-8059-5400

## タワー型UPS Smart-UPSシリーズ

- SMT500J/750J/1000J/1500Jの4機種
- AVR部品をバイパスして熱量を低減し、効率97%以上を実現
- バッテリー寿命を4.5年に延長
- インタフェースにLCDを採用(LCD+LED)
- パワーメータや障害情報をカタカナで表示。
- 出力コンセントグループの搭載(SMT1000J/1500Jモデル)
- グループ毎のオフ/オン、シャットダウン、レポートが可能。
- 時間差で電源オフ/オンがUPS単体でのコントロールで可能。



シュナイダーエレクトリック/米国  
URL: www.schneider-electric.com/  
☎: 03-6402-2240

## ネットワークメガピクセルPTZカメラ N-CC2650M

- 1.3メガピクセルCCD採用
- SXVGAの高解像度映像出力を実現
- 光学18倍電動ズームレンズ×12倍電子ズームレンズ搭載、最大216倍の望遠撮影実現
- デイナイト機能搭載
- 最大4倍の電子感度アップ機能、逆光補正機能搭載
- 「プリセット機能」「オートパン」「オートチルト」「ツアー」「動き検出機能」搭載
- 「プライバシーマスク機能」搭載



TOA  
URL: www.toa.co.jp  
☎: 078-303-5631

## HD-SDI/HDMIコンバータ SDI2HDMI

- HD-SDIのHDMI信号への変換を実現
- BNC入力とHDMI出力コネクタ
- 1080pと720pの入力信号を自動検知(1080i 50/60fps, 1080p25/30fps, 720p25/30/50/60fps)
- 4つの映像出力信号が選択可能(1080p/60FRB, 1080p/60, 1080i/60, 720p/60)
- 情報の画面表示
- 電源と接続をLED表示
- DC12V, 最大4W



Webgate/韓国  
Email: sales@webgateinc.com

# a&S INTERNATIONAL



**モバイル端末で閲読してみましよう！**  
a&sの情報をあなた流の読み方で



**いつでもどこでも**

iPAD、iPhone、Androidなどのスマートフォンやタブレット端末、PCでどうぞ

## オンライン閲読

ステップ 1

www.zinio.comに接続



ステップ 2

Science & tech > Electronics or Search a&s International で検索

ステップ 3

Insideをクリックして、すぐに閲読

# リニューアル!

# a&s JAPAN

# 電子版



<http://www.asj-corp.jp/>

a&sJAPAN電子版が、簡単にそしてすぐに読めるようになりました。一度読者登録していただくだけです。登録いただき次第、最新号のURLをメールでご案内します。このURLをクリックするだけで、すぐに読むことができます。その後は、当社が最新号をアップする度に、最新号のURLを読者の皆様にメールで通知します。バックナンバはもっと簡単で、ウェブ上の雑誌表紙をクリックするだけでいつでもお読みいただけます。

## ● 無料閲読登録方法

① 当社HPを開き、左中にある最新号をクリックします。 ④ メールで最新号のURLをお知らせします。

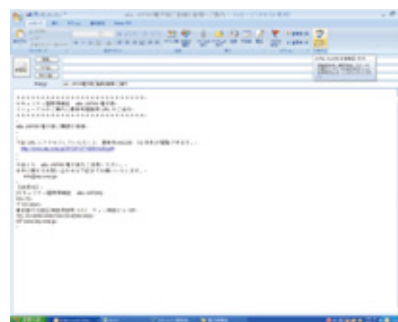
② 下記ページが開きますので、



左端の最新号直下のマークををクリックします。

### 新規無料購読お申込み

③ 下記の登録ページの必須項目にご記入ください。



電子版創刊に伴い、a&s JAPAN雑誌版は有償年間購読に切り替えさせていただきます。年間購読料金は、6,000円(税・送料込)です。詳細は下記URLをご覧ください。

[http://www.asj-corp.jp/paid\\_reading/](http://www.asj-corp.jp/paid_reading/)

## ASJ社

東京都千代田区神田須田町1-7-1ウィン神田ビル10階  
〒101-0041 TEL : 03-6206-0448 FAX : 03-6206-0452  
E-MAIL : reader@asj-corp.jp



# 読者の声

## 新築マンションのセキュリティがカード式入退管理で万全か？

自宅の住み替えを検討しているが、現在の居住地が比較的安全と言われているので、付近で建設中の新築マンションのモデルルームを見てきた。物件特徴を紹介するパネルに「万全な防犯対策」と記載してあったので、具体的な仕様を確認したところ、居住者用にはカード式入退管理と4桁の暗証番号、外来者用にはドアフォン程度のカメラによる確認によるリモート解錠だった。個人が特定できないカードと10キーによる入退管理で万全な対策を謳うディベロッパーと設計会社の知識不足に驚愕した。

(埼玉 設置施工業)

## ソーシャルメディアの活用

日本と比較して圧倒的に犯罪発生の高い米国のシアトルやフィラデルフィアなどの警察では、事件発生場所や監視カメラの映像などに関する情報をFaceBookやYu-Tubeで公開している。日本国土面積の約25倍と広く、さらに州単位の警察行政が進んでいるという特殊性を除いても、これは検討すべき取り組みではないか。犯罪防止や犯人検挙に関しては、一般市民からの情報も不可欠であることは明白なことから、日本でも警察と市民が連携できるITシステムの活用を講じるべきはないだろうか。

(東京 公務員)

## 最小限かつ費用対効果の高い監視システムの提案を求める

今や監視システムは、住居やSOHOなどでも必要な時代となってきている。例えば、不在中の自宅やオフィスの状況をリアルタイムで確認したい時もある。さらに様々な遠隔操作が可能となってきている環境を加味すると、高解像度の映像を携帯端末やスマートフォンで視認できるシステムは、決して大規模市場ではないが、底堅い需要があるだろう。しかし、現状ではこれに代えてくれるソリューションを探すのが困難だ。カメラ台数は2~4台かもしれないが、快適と安全を実現する最小限で費用対効果の高い映像システムを提案を求めたい。

(千葉 公務員)

## 「読者の声」を募集しています。

本誌では、セキュリティに関する読者の皆様のご意見やご提案を募集しています。セキュリティ機器やシステムを供給している側、セキュリティ・システムを既に導入あるいは導入を予定している側、いずれの側からの応募をお待ちしています。ただし、特定企業や団体または個人に対する誹謗中傷または批判的な内容をご遠慮ください。

一例を挙げると、導入する場合の手順はどのように進めれば良いのか。導入前の事前説明についてはどこに相談すべきなのか。メーカーなのか販売会社なのか、システム構築企業や設置施工企業なのか、それともセキュリティ・コンサルタント企業なのか。セキュリティに関する疑問や意見また提案など、セキュリティ関連であれば詳細は問いません。掲載する場合は匿名扱いとしますので、個人情報が漏洩することはありません。

なお、具体的な導入相談については、導入条件や環境についてできるだけ具体的な内容をご連絡ください。ご応募をお待ちしております。



a&s JAPAN編集部

TEL : 03-6206-0448

FAX : 03-6206-0452

MAIL : info@asj-corp.jp

広告主名(ABC順)	掲載ページ
BOSCH SECURITY SYSTEMS	5
DYNACOLOR JAPAN	23
EVERFOCUS JAPAN	表一、2-3
フリーアースシステムズジャパン	表二
GENETEC	43
HID	7
ジャバテル	11
MESSE FRANKFURT NEW ERA MEDIA	27、29、50、59、61
MINTRON ENTERPRISE	表三
MOBOTIX JAPAN	52、53
ネットカムシステムズ	表四
日本経済新聞社	57
SEE EYES	9
店舗プランニング	13、15

## 次号案内 2013年1/2月号(1月10日発行予定)

### 特集

2012年の総括

### 特別企画

SECURITY50 2012

### 連載

市場慧眼、生体認証、署名認証

(誌面の都合上、変更になることがあります)

**a&s JAPAN** ©ASJ社 2012年11-12月号 No.31  
The Professional Magazine Providing Total Security Solutions

発行人 小森堅司 印刷 新日本印刷

a&s JAPANは、Messe Frankfurt New Era Media発行のa&s International、a&s Asiaをはじめとするa&s各誌の独占翻訳権を特約して、発行するセキュリティ国際情報誌です。

#### ASJ社

Advanced Security Journal Corporation  
東京都千代田区神田須田町1-7-1 ウィン神田ビル10階 〒101-0041  
電話：03-6206-0448 FAX：03-6206-0452

#### ■広告に関するお問い合わせは

E-mail：[komori@asj-corp.jp](mailto:komori@asj-corp.jp)

#### ■購読に関するお問い合わせは

E-mail：[reader@asj-corp.jp](mailto:reader@asj-corp.jp)

#### ■記事情報提供に関するお問い合わせは

E-mail：[info@asj-corp.jp](mailto:info@asj-corp.jp)

#### ■DM代行サービスおよび電子メール配信サービス

当社では、企業の依頼によりDMまたは電子メールで情報をお届けすることがあります。これらのサービスでは、読者の皆様の個人情報を当該企業には一切公開しておりません。

# 次の ハイビジョンを リードする

## 配線を簡素化、フル機能を持ち

### HDコアキシャル・リンクシステム HDコアキシャル・リンクの特長

- 拡張型HD-SDI技術
  - ビデオフォーマットを支援：720p/1080i/1080p、標準SMPTE 292Mに順守
  - 単一ケーブルで複数の信号伝送技術を扱い、HDビデオ、デジタルオーディオ、Ctrlキー(RS-232/RS-485)に対応
  - 伝送距離はリピータなしの場合、凡そ100メートル可能
- 詳細な情報：[mintron.com.tw/hdcoaxlink/](http://mintron.com.tw/hdcoaxlink/)

### HDファイバー・リンクシステム HDファイバー・リンクの特長

- 16ビット非圧縮高精細映像、凡そ2キロ伝送可能
  - マルチフォーマットビデオ出力720p/1080p/1080i
  - WDM (Wave Division Multiplexing：波長多重方式)技術で最高品質のHD映像伝送技術
  - 無EMI (電磁妨害雑音)、RFI (無線周波数干渉)、クロストークおよびグラウンドループ
  - 電氣的、または光学的調整設定の必要なし
  - 単一ファイバーでHD映像、オーディオおよび制御信号RS-232に対応
  - HDVIやHD-SDI出力を対応
- 詳細な情報：[mintron.com.tw/hdfiberlink/](http://mintron.com.tw/hdfiberlink/)

### ラインナップHDTVカメラの一覧

- 2.1メガ/ 1.3メガ/ 1メガのCCD/ CMOS 1080pカメラ
- AFズーム 10X/ 20X 1080p カメラ

プリセットは  
不要



# 録画ソフトウェアの メインストリーム



## KxViewPro

高性能！簡単操作の録画ソフトウェア

### Ver2.1

H.264 対応

同時録画台数 9 台、16 台、32 台、64 台用をラインナップ

- ・多彩な分割画面 (4 分割～最大 24 分割画面)
- ・マルチベンダ対応で複数メーカーのネットワークカメラ混在可能
- ・MAP 画面表示機能、カメラツリー表示機能を搭載
- ・デュアルモニタ対応 (ライブ分割画面最大 48 分割表示可能)

### 新発売！

#### ●バーチャルセンサー [NetCam VS]

- ・ネットワークカメラによる仮想センサーです
- ・画面上に自由にセンサーラインを描画できます。

#### ●カメラ中継ソフトウェア [NetCam GATE]

- ・ネットワークカメラへの接続セッション数を増やします
- ・ホームページでのカメラ公開や、多拠点でのアクセス性を向上させます

#### ●車両ナンバー認識 [ナンバーアイ]

- ・独自の認識アルゴリズムで一から設計。  
高性能・低価格を実現
- ・誤認識調整やご当地ナンバー等にも迅速に対応可能。



#### ●ネットワークカメラ録画サービス [さば録]

- ・クラウド方式で現場に録画機器が不要
- ・メンテナンスフリー
- ・どこでも閲覧可能
- ・<http://sabaroku.net>

当社はネットワークカメラ関連ソフトウェアをすべて自社開発しております。  
個別カスタマイズ・OEM のご要望・ご相談お受け致します！

# 防犯・監視カメラを

# もつと便利に、

# もつと使いやすく。

**NetCam**  
IP Network Monitoring System

株式会社ネットカムシステムズ

E-mail: [netcam@netcam.co.jp](mailto:netcam@netcam.co.jp)  
URL: <http://www.netcam.co.jp>

■本社・秋葉原ショールーム  
東京都千代田区外神田 3-10-3  
プライム秋葉原ビル 7F  
TEL 03-5207-8591

■大阪支店

大阪府大阪市淀川区宮原 5-1-18  
新大阪サンアールセンタービル 9F  
TEL 06-4866-6431